商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

新商品などの商品選び、本機に関する取扱方法などのご相談や、販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝 DVD インフォメーションセンター』 ［受付時間］**365日／9:00～20:00**

〔一般回線からのご利用は〕 フリーダイヤル **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

〔携帯電話からのご利用は〕 ナビダイヤル **0570-00-3755**（通話料：有料）
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

［IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は］ **03-6830-1855**（通話料：有料）

［FAXからのご利用は］ **03-3258-0470**（有料）

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝ビジュアルプロダクツ社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検 ★長年ご使用のポータブルDVDプレーヤーの点検を!

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり取り出しができない ● ACアダプターが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある

お願い	故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。 点検･修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
ビジュアルプロダクツ社
〒105－8001 東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ⓉPX1D00006744

Leading Innovation >>>

東芝ポータブルDVDプレーヤー

形名 **SD-P75DTW**

取扱説明書

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

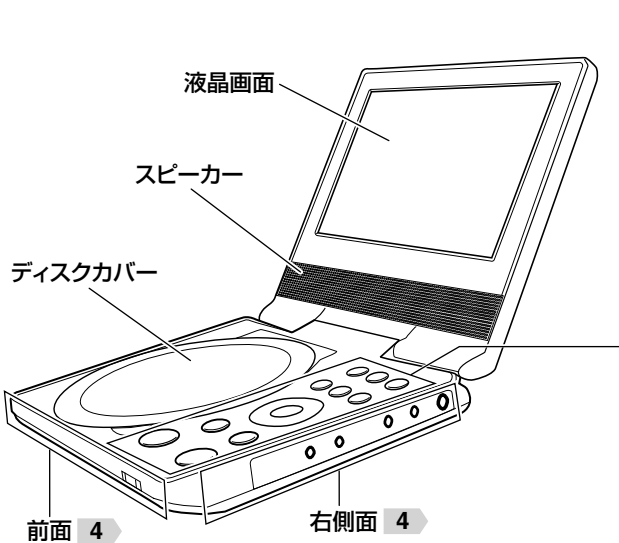
本書の見かた・使いかた

このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

全体図

くわしくは、　内ページをご覧ください。

液晶画面
スピーカー
ディスクカバー
前面 4
右側面 4

クイックボタン 40
クイックメニューを表示します。

入力切換ボタン 39
モード選択画面を表示します。

録画ボタン 60
番組を録画します。

一時停止ボタン 70 81 83
再生を一時停止およびコマ送りします。

スキップボタン 71 84
タイトルやトラック、録画番組を頭出しします。

チャンネルボタン 49
テレビのチャンネルを切り換えます。

決定ボタン 45 81
選んだ内容を決定します。

方向ボタン(▲/▼/◀/▶) 45 81
項目や入力位置を選びます。

音量ボタン(▲/▼) 50 81
音量を調節します。

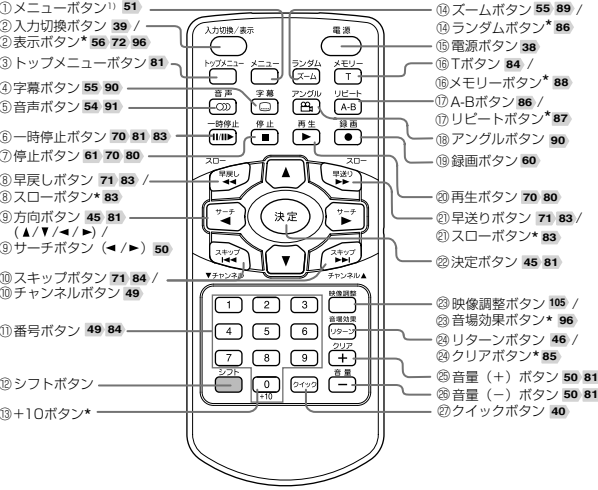
再生ボタン 70 80
再生を開始します。

停止ボタン 61 70 80
再生／録画を止めます。

電源ボタン 38
本体の電源を入り切りします。
電源を入れると点灯します。

オープンボタン
ディスクカバーを開けます。

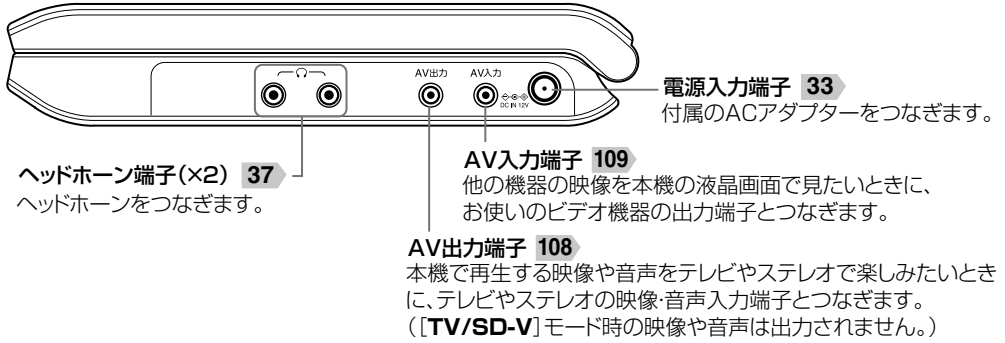
クイック　入力切換　録画
スキップ／チャンネル　一時停止　スキップ／チャンネル
▲音量　▼音量
停止　再生
オープン　電源

リモコン　くわしくは、　内ページをご覧ください。

* ：「シフト」を押しながらそのボタンを押すと働きます。

	おもな機能
① **メニュー**	メニューなどの表示
② **入力切換**	モード選択画面の表示
② **表示**	操作状況や情報の表示
③ **トップメニュー**	DVD ビデオディスクのトップメニューの表示
④ **字幕**	字幕の表示と選択
⑤ **音声**	音声の選択
⑥ **一時停止**	再生の一時停止
⑦ **停止**	再生／録画の停止
⑧ **早戻し**	再生の早戻し
⑧ **スロー**	スローモーション再生
⑨ **方向ボタン**	項目や入力位置の選択
⑨ **サーチ**	一時的に受信可能な放送局を探知
⑩ **スキップ**	タイトル、トラック、録画番組の頭出し
⑩ **チャンネル**	テレビのチャンネル切換え
⑪ **番号ボタン**	数字の入力／テレビのチャンネル切換え
⑫ **シフト**	ボタンの機能の切換え
⑬ **＋10**	10の位の数字の入力
⑭ **ズーム**	画像表示の大きさの切換え
⑭ **ランダム**	順不同の再生
⑮ **電源**	本体電源の入り切り
⑯ **T**	見たいシーンの指定画面の表示
⑯ **メモリー**	再生する順番の設定
⑰ **A-B**	指定区間のくり返し再生
⑰ **リピート**	くり返し再生
⑱ **アングル**	カメラアングルの切換え
⑲ **録画**	ワンセグ放送の録画
⑳ **再生**	再生の開始
㉑ **早送り**	再生の早送り
㉑ **スロー**	スローモーション再生
㉒ **決定**	選んだ内容の決定
㉓ **映像調整**	画質や画面サイズの設定
㉓ **音場効果**	音場効果の選択
㉔ **リターン**	前画面の再表示
㉔ **クリア**	入力値の取り消し
㉕ **音量（＋）**	音量を上げる
㉖ **音量（−）**	音量を下げる
㉗ **クイック**	モードや操作状況によって使える機能を表示

1)メニューボタン
[**TV/SD-V**]モードでは、機能のメニューを表示します。(51 ページ)
[**DVD/CD**]モードでは、DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示します。メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」(81 ページ)と同様の手順で行ないます。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

右側面

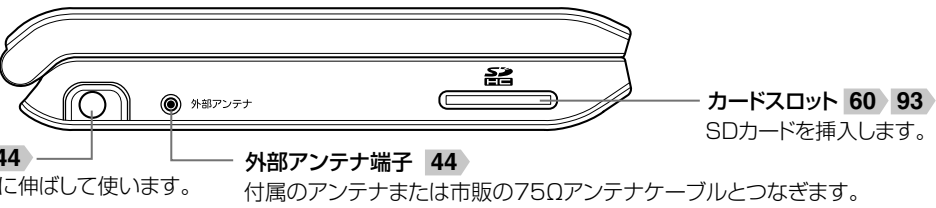
電源入力端子 33
付属のACアダプターをつなぎます。

ヘッドホーン端子(×2) 37
ヘッドホーンをつなぎます。

AV入力端子 109
他の機器の映像を本機の液晶画面で見たいときに、お使いのビデオ機器の出力端子とつなぎます。

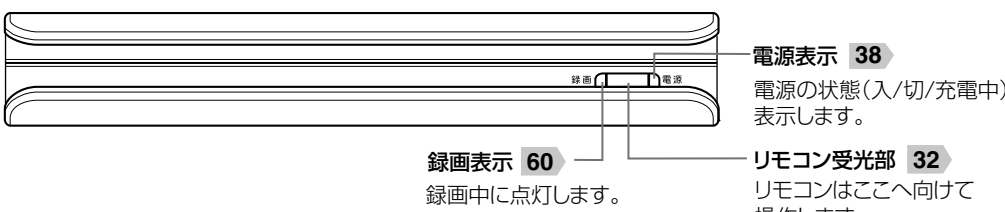
AV出力端子 108
本機で再生する映像や音声をテレビやステレオで楽しみたいときに、テレビやステレオの映像・音声入力端子とつなぎます。
（[**TV/SD-V**]モード時の映像や音声は出力されません。）

左側面

外部アンテナ

カードスロット 60 93
SDカードを挿入します。

内蔵アンテナ 44
テレビの視聴時に伸ばして使います。

外部アンテナ端子 44
付属のアンテナまたは市販の75Ωアンテナケーブルとつなぎます。

前面

電源表示 38
電源の状態(入/切/充電中)を表示します。

録画表示 60
録画中に点灯します。

リモコン受光部 32
リモコンはここへ向けて操作します。

商品の保証とアフターサービス

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…?と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品　　名	ポータブルDVDプレーヤー		
形　　名	SD-P75DTW	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お　名　前		電話番号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。☎（　　）　―		

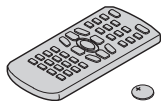
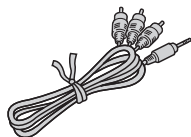
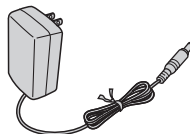
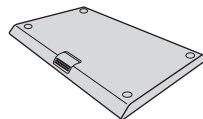
保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

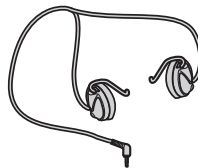
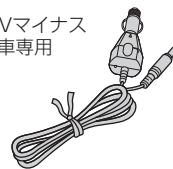
修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
コイン型電池(CR2025)×1個

AV入力出力端子専用
映像・音声接続コード×1本

AC アダプター
(EADP-18SB F)*×1 個

バッテリーパック*×1個
(リチウムイオンバッテリーパック)

アンテナ×1本

アンテナ変換プラグ×1個
※ご購入時、付属のアンテナに接続されています。

ヘッドホーン×1個

カーアダプター*×1個
※DC12Vマイナスアース車専用

キャリングバッグ×1個

取扱説明書（本書）×1冊

* ACアダプター、バッテリーパック、カーアダプターは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。使用すると大変危険です。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

準備

テレビの録画・再生

ディスクの再生

機能設定

接続

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。安全を確認してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ ACアダプターが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ACアダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れないこと

接触禁止

感電の原因となります。

■ 水にぬらしたりしないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと

指　示

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

■ ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと

禁　止

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

■ 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと

禁　止

交通事故の原因となります。

■ 車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さないこと

禁　止

他の人にけがを負わせる原因となります。

⚠注意

■ ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと

禁　止

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

禁　止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 回転中のディスクには触れないこと

ディスクカバーを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

設置するとき

警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

風呂､シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しないこと

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠ 注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

- ●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- ●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- ●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- ●壁に押しつけないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・カーアダプター・外部との接続コードをはずすこと

ACアダプターやカーアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

⚠警告

■ ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターのコードは

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

■ 時々ACアダプターを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（ACアダプターは待機状態のときに抜いてください。）

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

火災、故障の原因となることがあります。

■ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

■ ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。ACアダプターを持って抜いてください。

■ ACアダプターは、付属のものを使用すること

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターは国内専用です。

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ ACアダプターはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ 充電中や使用中にバッテリーパックが異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると破裂・火災の原因となります。
常温に戻ったことを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 指定されたバッテリーパックを使用すること

指　示

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

禁　止

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと

禁　止

破裂・火災の原因となります。

■ バッテリーパックの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと

禁　止

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ 不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店（36 ページ参照）へお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

指　示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

指 示

破裂、発火の原因となります。

⚠注意

■ バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること

指 示

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

コイン型電池について

警告

■ コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

禁 止

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

■ リモコンに使用しているコイン型電池は

禁 止

- **指定以外の電池は使用しないこと**
- **極性表示 [(＋) と (−)] を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと**
- **表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ コイン型電池を廃棄する場合は、(＋) と (−) にそれぞれビニールテープなどをはること

指 示

そのまま廃棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

■ 開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

カーアダプターについて

⚠ 危険

■ 走行中は、使用しないこと

交通事故の原因となります。

■ エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと

エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

■ 運転者の視界を妨げる場所に置かないこと

交通事故、けがの原因となります。

■ 運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと

交通事故の原因となります。

■ 24V車や12Vプラスアース車では絶対に使用しないこと

カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。

■ 分解・改造はしないこと

火災、感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

■ コード類がシートのレールやドア、窓などの可動部分にはさまれないようにすること

コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。

⚠注意

■ カーアダプターは指定のポータブルDVDプレーヤー以外に使用しないこと

発煙、火災、感電の原因となります。

■ 本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターを使用しないこと

発煙、火災、感電の原因となります。
また、車のバッテリー等への影響が発生します。

■ ぬれた手でカーアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししないこと
また、液体をこぼしたりしないこと

感電の原因となります。

■ 通電中のカーアダプターに長時間触れないこと

カーアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

■ カーアダプターを使用するときは、カーアダプターのプラグはシガーライターソケットに、カーアダプターのプラグは本体の電源入力端子にしっかりと差し込むこと

これを守らないと発煙、火災の原因となります。

キャリングバッグについて

⚠危険

■走行中は、取りはずすこと

急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。

■エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと

エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

■運転者の視界を妨げる場所に置かないこと

交通事故、けがの原因となります。

■運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと

交通事故の原因となります。

⚠警告

■キャリングバッグのベルトを首などにかけないこと

窒息、けがの原因となります。

■キャリングバッグをかぶらないこと

窒息、けがの原因となります。
特にお子様がいるときはご注意ください。

⚠注意

■キャリングバッグのベルトを持ってふりまわさないこと

けがや破損の原因となります。

■キャリングバッグを車に装着して使用するときは、キャリングバッグのベルトをしっかり固定させること

けがや破損の原因となります。

■キャリングバッグにプレーヤーを入れて持ち運ぶときは、チャックをしっかりとしめること

本体が落ちて、けがや破損の原因となります。

小型の製品・部品について

⚠注意

■本機に付属されたリモコンの電池ケースやアンテナ変換プラグ、および本機で使用するSDカードやSDカードアダプターは、幼児の手の届くところに置かないこと

誤って飲み込むと窒息やけがの恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- ディスクカバーの中にあるピックアップレンズには、触れたり、清掃をしたりしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

自動車内での使用について

- 運転中は、操作したり、見たりしないでください。事故の原因になります。
- 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の動作ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。
- 車内に放置しないでください。暑さや寒さで故障の原因となります。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを "結露(露付き)" といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■ "結露" はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

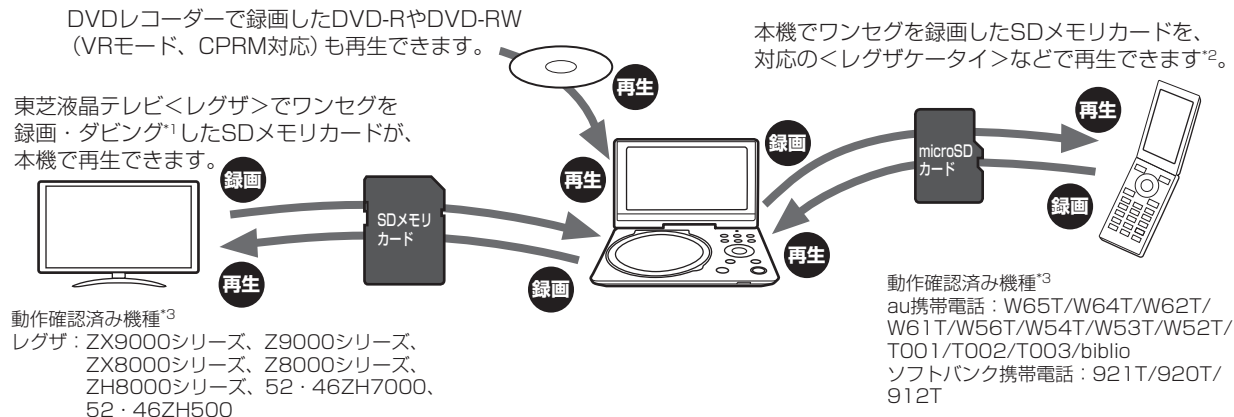
DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。）

ディスクとSDカードの取扱い

本機では、DVDなどのディスクとSDメモリカードが使用できます。規格と使用方法をお確かめの上、正しくお使いください。

*1　「ダビング10」適用番組に限ります。

*2　microSDメモリカードが必要です（本機での使用時はSDメモリカードアダプターを着用）。

*3　2010年3月現在。当社が独自に調査したもので、すべての製品の動作を保証するものではありません。

再生できるディスク

ディスク	DVDビデオディスク	DVD-RWディスク	DVD-Rディスク	ビデオCD	音楽用CD	CD-ROM	CD-R/RWディスク*
ロゴ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD RW	DVD R R4.7	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable
大きさ	12cm 8cm	12cm		12cm 8cm	12cm 8cm(CDシングル)	12cm	
内容	・映像(動画)+音声	・映像(動画)+音声 Videoモード/VRモード*CPRM対応 *ファイナライズ処理がされたもの ・音声(MP3/WMAファイル) ・動画(DivXファイル) ・静止画(JPEGファイル)		・映像(動画)+音声	・音声	・音声(MP3/WMAファイル) ・動画(DivXファイル) ・静止画(JPEGファイル) *VIDEO CD (ビデオCD)フォーマットにも対応。ただしディスクによっては再生できないものもあります。	

お知らせ

- 前記の表以外のディスクは再生できません。
- 前記の表のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 前記の表のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

DVD™ はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback Control(プレイバック コントロール)の略です。)ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

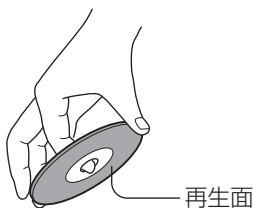
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。

PBC付きビデオCD(バージョン2.0)

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

SDカードについて

本書では「SDメモリカード」および「SDHCメモリカード」を、「SDカード」と記載しています。

記録・再生が可能

- ワンセグ放送の録画・再生

再生が可能

- 音楽ファイル（MP3、WMA）再生
- 静止画ファイル（JPEG）再生

■ 対応しているSDカード（東芝製を推奨）

● SDメモリカード（8MB ～ 2GB）

● SDHCメモリカード（4GB ～ 32GB）

- miniSDカード、microSDカード／microSDHCカードは、必ず専用のSDカードアダプターに装着してから本機に差し込んでください。（30 ページ）

※ SDカードのフォーマット形式や使用状態によっては、上記のカードでも本機で使用できない場合があります。カードの読み込みが正常に動作しない場合は、本機からSDカードを取り出してください。

- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。

- SD規格に準拠したSDカードを使用してください。
- SDカードの容量やメーカー、状態によっては、使用できない場合があります。
- SDカードのスピードクラス（転送速度）に関わらず使用できます。
- パソコンなどの機器でフォーマットしたSDカードは使用できないことがあります。
- 対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- SDXCカードには対応していません。

■ 免責事項

- 音楽ファイルや静止画ファイルで大切なデータはパソコンなどを使用してバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でSDカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■SDカードの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

SDカードの譲渡や廃棄の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去ソフトウェアなどで、データを完全に消去することをおすすめします。本機やパソコンなどの機器でSDカードの初期化やファイルの削除を行なっても、データが完全に消去されず、データが復元される可能性があります。

SDカード内のデータはお客様の責任において消去してください。

■取扱い上のご注意

● SDカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

● SDカードの読出し中、録画中、再生中、削除中などは、電源プラグを抜いたり、バッテリーパックをはずしたり、SDカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

● SDカードの初期化中は、電源プラグを抜いたり、バッテリーパックをはずしたり、SDカードを取り出したりしないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。

● SDカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。

● 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。

● 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。

● SDカードの金属部(金色の部分)にゴミや水、異物などがつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。

● SDカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。

● 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。

● ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。

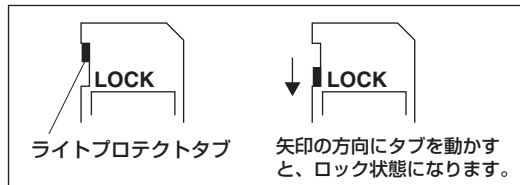
● 本機から取り出したSDカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

● 長期間SDカードを使用しなかった場合、記録されているデータが読み出せなくなる場合があります。

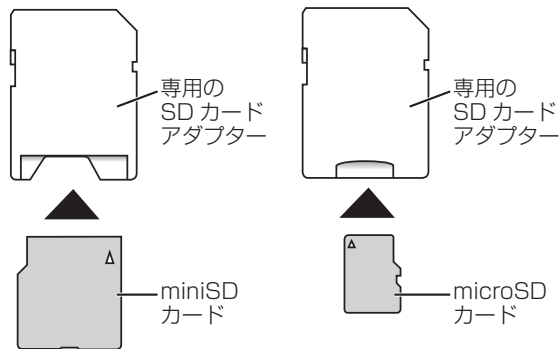
● SDカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいSDカードをお求めください。

● SDカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

■ SDカードの誤消去防止について

たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■ miniSDカード、microSDカードのアダプター装着のしかた

miniSDカード、microSDカードはSDメモリカードの規格と互換性があり、専用のSDカードアダプターを装着するとSDメモリカードとして使用できます。

本機で使用するときは、必ずアダプターを装着した状態でお使いください。

ご注意！

- microSDカードは直接SDカードアダプターに装着してください。microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、その上にSDカードアダプターを装着して使用しないでください。

準備

ご使用になる前の準備です。

- リモコンの準備
- ACアダプターの接続
- バッテリーパックを使う
- ヘッドホーンをつなぐ
- 電源の入れかた／切りかた
- モードを切り換える
- クイックメニューの使いかた

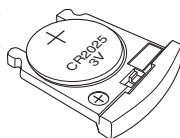
リモコンの準備

付属のリモコンは、所定のコイン型電池をいれてお使いください。コイン型電池をお使いになるときは、17ページの注意をよくお読みください。

1 リモコンを裏返し、底部にあるツメを、矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す

指先や爪を傷めないようご注意ください。

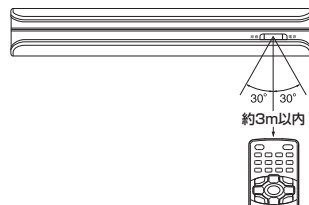
2 コイン型電池CR2025の⊕面を上にして、電池ケースにはめこむ

電池をケースから落とさないようご注意ください。

3 コイン型電池をはめた電池ケースを、リモコンに入れる

ご注意

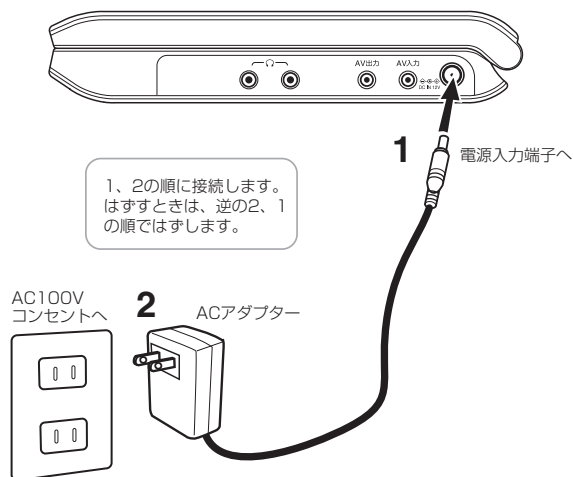
- コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないでください。コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコンの操作範囲

本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約３m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内
リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入すると、リモコンの故障の原因となります。

ACアダプターの接続

室内のコンセントへは、付属のACアダプターを、以下のようにつないでお使いください。

⚠警告

- **ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行なってください。

ご注意

- 付属のACアダプターは、本製品以外には使用しないでください。

バッテリーパックを使う

付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

⚠ 危険

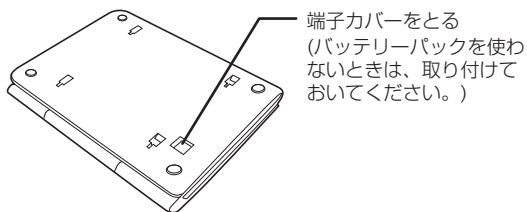
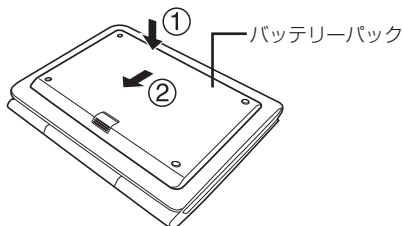
- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 本機底面の端子カバーをとる

5 バッテリーパックを裏返し、バッテリーパックのツメを本体の4ヵ所の穴に差し込む(①)
次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い
- 使用後は、電源プラグを抜き、本機からバッテリーパックをはずしてください。

お知らせ
- バックライトの明るさは、電源によって自動的に切り換わります。(ACアダプター接続時:[明]、バッテリーパック使用時:[暗])設定は変更できます(105 ページ)。バックライトの設定を変更して使用すると、連続再生時間が短くなります。
- ACアダプターとバッテリーパックが付いた状態で、本機をご使用いただくことはできます。

■ バッテリーパックの充電

バッテリーパックは充電してお使いください。(電池残量が少なくなると、バッテリー表示[ ]が画面に表示されます。)特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。充電は、本機の電源が切れている状態で行ないます。(電源を入れた状態では充電されません。)

1 本機にバッテリーパックを取り付ける

2 本機にACアダプターを接続する
(ヘッドホーンなどのその他のコード類ははずした状態にしてください。)

充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。充電が終了すると、電源表示が消灯します。
- バッテリーパックが満充電に近い状態では充電は始まらず、充電表示は点灯しません。

お知らせ
- 充電は温度が5℃～35℃の環境で行なってください。
- 充電を途中で中断すると、中断したときの電圧によっては充電を再開しない場合がありますので、電源表示がオレンジ色に点灯している間(充電中)は、ACアダプターを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。

バッテリーパックの充電時間の目安	**約4時間**

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時のワンセグ放送連続視聴時間の目安	**最大約9.5時間**

バッテリーパック使用時のDVD連続再生時間の目安	**最大約5時間**

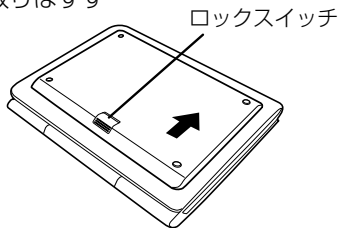
上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(25℃、バックライトの設定[暗]、ヘッドホーン使用、新品のバッテリーパック使用時)
- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 バッテリーパックのロックスイッチを押しながら、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせて取りはずす

5 端子カバーを取り付ける

お願い

- 端子カバーは、針金などの金属の接触によるショートから電極を保護するためにも、必ず取り付けてください。端子カバーを紛失した際は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 本機の動作中（電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中）は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP75J）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

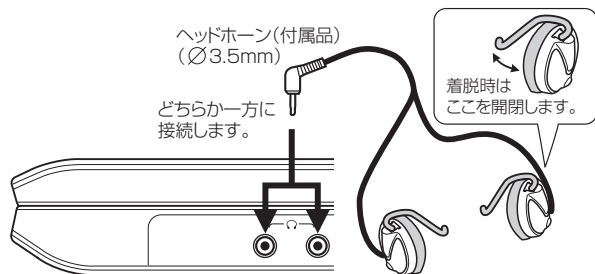
不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために、必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

一般社団法人JBRC　ホームページ

http://www.jbrc.com

リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

ヘッドホーンをつなぐ

本機には、ステレオミニジャック（∅3.5mm）のヘッドホーンが接続できます。

- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行なってください。
- 接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったらお好みの音量に調節してください。音量の調節のしかたは、**50** ページをご覧ください。
- ヘッドホーンは、2つ接続できます。ヘッドホーンを2つ使用する場合には、市販のヘッドホーンをお使いください。
- ヘッドホーンが接続されているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。

⚠注意

- ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

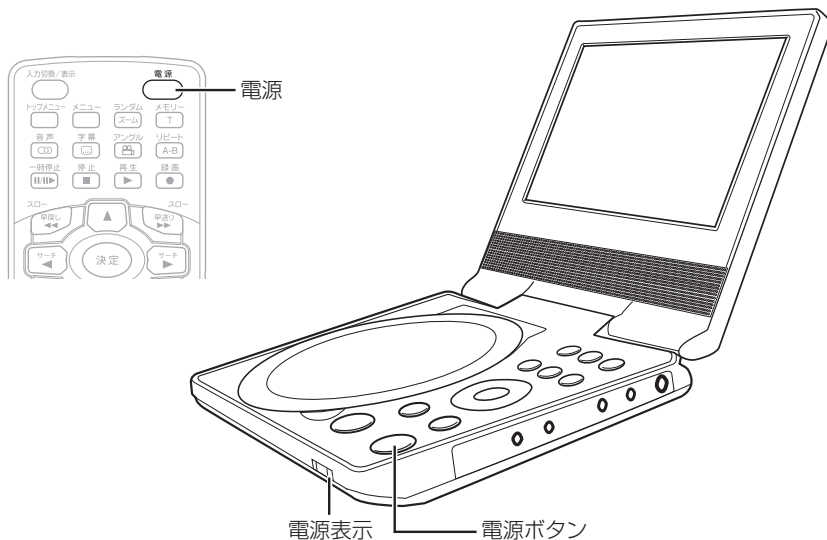
電源の入れかた／切りかた

本体またはリモコンの「電源」を押す

本体の電源ボタンと電源表示が点灯します。

電源を切るときは、もう一度押します。

ご注意！

- はじめてお使いになるときは、電源を入れる前に必ず本体の「オープン」を押してディスクカバーを開け、中にある保護シートを取り出してください。

電源表示	電源の状態
緑	入
消灯	切
オレンジ色	充電中

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることでワンセグ放送やディスク、SDカード、本機につないださまざまな外部機器からの入力映像が楽しめます。必要に応じて切り換えてお使いください。

1 「入力切換」を押す

モードの選択画面が表示されます。

• もう一度「入力切換」を押すと、選択画面が消えます。

2 方向ボタン（◀／▶）を押して、モードを選ぶ

モード	機能
TV/SD-V	本機で受信したワンセグ放送を視聴・録画・再生するとき。 SD-V：SD-Video（SDカード用の動画記録の規格）の略です。
DVD/CD	本機にディスクを入れて、その画像を本機の液晶画面で見るとき。
SDカード	SDカードに記録されたMP3/WMAまたはJPEGファイルを再生するとき。
AV入力	接続したビデオデッキなどの外部機器からの映像を、本機の液晶画面で見るとき。

3 「決定」を押す

選択したモードに切り換わります。

お知らせ

• 本機で録画した番組を再生したいときは、必ず［**TV/SD-V**］にしてください。［**TV/SD-V**］以外のモードでは、再生できません。
• ディスクを再生したいときは、必ず［**DVD/CD**］にしてください。［**DVD/CD**］以外のモードでは、ディスクの再生はできません。
• AV出力中（108 ページ）はモードの切り換えはできません。
• 録画中は［**SDカード**］モードに切り換えできません。

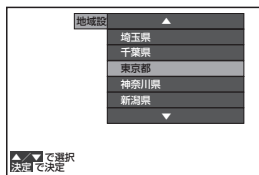
■ SDカードの記録内容とモード

記録内容 ＼ モード	TV/SD-V	SDカード
ワンセグ放送の録画番組	○	×
音楽ファイル（MP3、WMA）、静止画ファイル（JPEG）	×	○

○：再生できます。

×：ファイル名が表示されず再生できません。

（次ページへつづく）

お買いあげ後、はじめて電源を入れたときのモードは[**TV/SD-V**]になり、以下の画面が表示されます。

ワンセグ放送を受信するには、 **44** ページのアンテナの準備を行なったあと、 **45** ページ〜の「チャンネルを設定する」をご覧になり、本機をお使いになる地域の設定をしてください。

それ以外のモードで使用したいときは、 **39** ページの手順で目的のモードに切り換えてください。

クイックメニューの使いかた

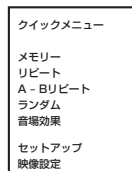
本機では、モードや操作状況によって使える機能を、一覧表示させて([クイックメニュー])その中から選べます。

どのモードでも共通の操作で使えます。

1 「クイック」を押す

機能や設定名が一覧表示されます。

内容はモードや操作状況で異なります。

例) [**DVD/CD**]モードのとき

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」を押す

3 項目の詳細を設定する

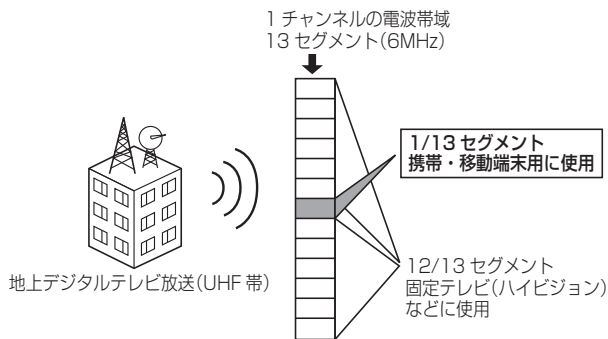
テレビの録画・再生

ワンセグ放送が楽しめます。
SDカードを使って番組の録画もできます。

受信の前に

本機では、ワンセグ放送を視聴することができます。（ただし、地域によっては放送を受信できない場合があります。また、地上アナログ放送、地上デジタル放送（ハイビジョン画質）は受信できません。）

ワンセグとは

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

ワンセグ放送の主な特徴

	ワンセグ放送
受信状態	地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できます。
画質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。

- 地上デジタルテレビ放送は､2003年12月から関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年12月には全県庁の所在地を中心とした一部の地域で本格的に放送が開始されました。
  ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
  尚、地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定されています。
- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

お知らせ

- ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。
  本機で録画した番組をコピーすることはできません。
  また、録画が禁止されている番組は録画することができません。
- 本機はデータ放送、緊急警報放送には対応していません。
- 地上デジタル放送の双方向サービスは利用できません。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

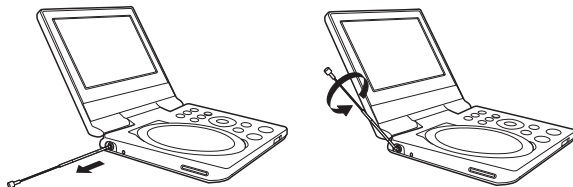
アンテナを準備する

ワンセグ放送を視聴・録画するときは、アンテナを使用してください。

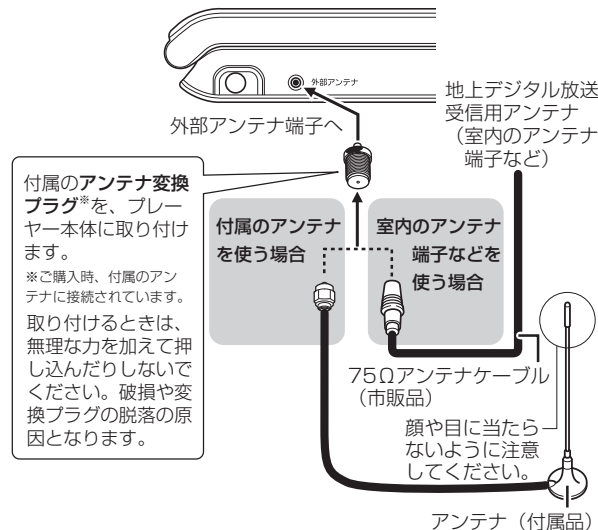
お知らせ

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。

■内蔵アンテナを使う場合

アンテナを真横に伸ばします。　最後まで引き伸ばすと、アンテナの向きを変えられます。

※ アンテナを無理に引き伸ばしたり、曲げたりしないでください。

■アンテナ端子を使う場合

安定した受信のために、アンテナ端子への接続をおすすめします。

ご注意！

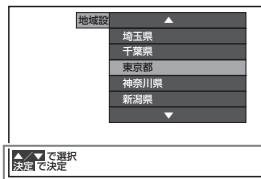
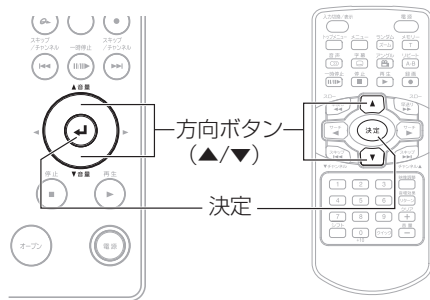
- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

チャンネルを設定する

ワンセグ放送を見るには、受信できる放送局を本機に設定する必要があります。

お買い上げ時は未設定です。以下の手順でチャンネルを設定してお使いください。

一度設定すると、再設定しない限り、電源を切ってもメモリーされています。

はじめて本機の電源を入れたときは、以下のメニューが出ます。このメニューを使って、チャンネルが設定できます。

1 方向ボタン（▲/▼）をくり返し押して、本機をお使いの地域を選び、「決定」を押す

方向ボタンは、押したままにしてカーソルを連続で動かすこともできます。

設定される放送局が一覧表示されます。

（次ページへつづく）

一画面に表示しきれず、次の画面があるときは、方向ボタン（▲/▼）で画面を切り換えて、すべての放送局名が確認できます。

例）

地域から設定「東京都」

番号	放送局名	リモコン
6 1 1	NINテレビ	1
6 2 1	教育NINテレビ	2
6 4 1	ニッポンテレビ	4
6 5 1	テレビタ日	5
6 6 1	SBTB	6
6 7 1	TV TOKIO	7
6 8 1	フジミテレビ	8

見たい放送がない場合は、方向ボタン（◀）（または「リターン」）を押して、近隣の地域に変えてみてください。

2 「決定」を押す

以下の画面に変わります。

3 方向ボタン（▲/▼）で、［はい］を選び、「決定」を押す

4 方向ボタン（▲/▼）で、設定を保存する場所（チャンネルリスト1、2、3のいずれか）を選び、「決定」を押す

【保存場所の選びかた】

番組を録画予約できるのは、チャンネルリスト1に保存した放送局だけです。ご自宅など、ふだん本機を使う場所の放送局をチャンネルリスト1に、出張や旅行など外出先の放送局をチャンネルリスト2、3に保存すると便利です。

設定が終了すると画面表示が消え、テレビの映像に切り換わります。

チャンネルの切り換えかたは、49 ページをご覧ください。

■ チャンネルを設定し直す

出張や旅行などふだんと違う場所でお使いのときは、その地域の放送が受信できるよう、チャンネルを設定し直してください。

1 ［**TV/SD-V**］モード（ 39 ページ）で、「**メニュー**」を押す

メニューが表示されます。

2 **方向ボタン**（▲/▼）で［チャンネル設定］を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲/▼）で［地域設定］を選び、「**決定**」を押す

4 45 ページ～の手順にそってチャンネルを設定する

地域設定と登録チャンネル

- 地域設定に登録されている放送局は、2008年3月時点の放送局運用規定に沿っています。
- お使いの地域によっては電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。その場合、登録されているチャンネルを削除することができます。（ 57 ページ）
- ワンセグ放送を行なっていない放送局も登録されています。放送が開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、今後変更される場合があります。
- 地域設定は、ワンセグ放送が行なわれているすべてのエリアには対応していません。地域設定で映らないチャンネルがある場合や、対応していない地域でお使いの場合は、 48 ページの「受信可能なチャンネルをスキャンして設定する」の手順で設定してみてください。

■受信可能なチャンネルをスキャンして設定する

45 ページの手順で設定できなかったチャンネルがあるときは、この手順をおすすめします。

内蔵アンテナをお使いの場合は、電波が弱いとスキャンできない場合があります。電波の状況のいい場所で内蔵アンテナを十分伸ばして行なってください。

1 47 ページの「チャンネルを設定し直す」の手順3で、[チャンネルスキャン]を選び、「**決定**」を押す

受信できるチャンネルのスキャンが始まります。

スキャンが終わると、受信できた放送局が一覧表示されます。

例）

チャンネルスキャンリスト

番号	放送局名	リモコン
6 1 1	NINテレビ	1
6 2 1	教育NINテレビ	2
6 4 1	ニッポンテレビ	4
6 5 1	テレビタ日	5

次画面があるときは、方向ボタン（▼）を押すと確認できます。

2 「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲/▼）で、[はい]を選び、「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**（▲/▼）で、設定を保存する場所（チャンネルリスト1、2、3のいずれか）を選び、「**決定**」を押す

※ 番組を録画予約するには、チャンネルリスト1に保存してください。

お知らせ

- チャンネル設定を行なうと、設定済みのチャンネルはすべて消えて新たに保存（上書き）されます。
- 地域によっては複数の放送局が一つのチャンネルで受信できる場合があります。たとえば、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信できる大阪府と兵庫県の県境などの地域では、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信して、それぞれを「1－1」、「1－2」というように、チャンネルを枝番で表示します。
- 電波状況が悪いと放送中の局でもスキャンできない場合があります。
- スキャンしたチャンネルでも受信感度が悪い場合があります。その場合、設定したチャンネルを削除することができます。（57 ページ）
- 設定したチャンネルをすべて消して、工場出荷時状態に戻したいときは、メニューから[オプション]＞[出荷時設定]を選びます。方向ボタン（▲/▼）で[はい]を選び、「決定」を押します。（チャンネルを含め[**TV/SD-V**]モード時に設定した項目はすべて、お買い上げ時の状態に戻ります。）

チャンネルを選ぶ

1 「チャンネル」を押す
または
リモコンの番号ボタンを押す

複数の放送局が一つのチャンネルに保存されていて、そのうちのどれかを選ぶときは、そのチャンネルの番号のボタンをくり返し押します。

例）「3－2」を選ぶ：

番号ボタン3を押す→（3－1の放送が映る）（「3－1」）→もう一度番号ボタン3を押す（「3－2」）

2ケタの数字を入力するときは、＋10ボタンを先に押します。

例）「12」を選ぶ：＋10*→2　*「シフト」を押しながら

お知らせ
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。
- 付属のアンテナを使うときは、方向を変えて、受信状態が良くなるように調整してください。（電波の弱い地域や移動しているときなどは、受信状態が不安定になります。）

■ メニューからチャンネルを選ぶ

放送局名を一覧表示で確認して選局することもできます。

1 メニューを表示させる（51 ページ）

2 **方向ボタン**（▲/▼）で、[番組表示] を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲/▼）で、[チャンネルリスト] を選び、「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**（▲/▼）で、チャンネルを選び、「**決定**」を押す

■一時的に受信できる放送局を探す

出張や旅行で県境など、放送エリアの重なる地域へ移動したとき、近隣の放送局が受信できることがあります。

1 番組の視聴中に、「**サーチ**」を押す

▶: 現在見ている放送局から、UHF帯の高い方へサーチします。

◀: 現在見ている放送局から、UHF帯の低い方へサーチします。

本体の方向ボタン(◀/▶)でもサーチできます。

お知らせ

- この手順で受信した放送局はチャンネル設定されていません。チャンネル設定するには、48 ページの「受信可能なチャンネルをスキャンして設定する」を行なってください。

音量を調節する

1 リモコンの「音量」(+/−)を押す
または
本体の「音量」(▲/▼)を押したままにする

+、▲: 音量が上がる

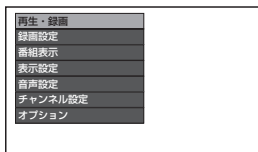
−、▼: 音量が下がる

テレビの録画・再生

メニューの使いかた(基本の操作)

[**TV/SD-V**] モードのときに、録画・再生などの操作や設定をメニューから選んで行ないます。

1 [TV/SD-V] モードで「**メニュー**」を押す

メニューが表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「**決定**」を押す

サブメニューが表示されます。

3 画面に沿って項目を選択し、設定する

お知らせ

- メニューは、「クイック」を押してクイックメニューから [メニュー] を選び、「決定」を押しても表示できます。
- 一つ前の項目に戻るには、方向ボタン(◀)またはリモコンの「リターン」を押します。
- メニューを消すには、リモコンの「メニュー」を押します。または「クイック」を押して [メニュー] を選び「決定」を押すと消えます。
- 操作の途中で「リターン」や方向ボタン(◀)、「メニュー」を押すと、その設定内容はメモリーされません。
- 音声が出力されない画面もありますが、故障ではありません。

番組表を表示する

視聴している放送局の放送予定が確認できます。各番組の詳細情報を見たり、録画を予約することもできます。

1 **番組表を見たい放送局にチャンネルを切り換える**

2 メニューを表示させる（51 ページ）

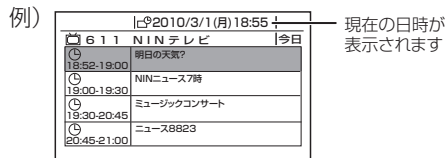
3 **方向ボタン（▲/▼）で［番組表示］を選び、「決定」を押す**

4 **方向ボタン（▲/▼）で［番組リスト］を選び、「決定」を押す**

番組表が表示されます。

例）

2010/3/1(月)18:55 ― 現在の日時が表示されます

611 NINテレビ	今日
18:52-19:00	明日の天気?
19:00-19:30	NINニュース7時
19:30-20:45	ミュージックコンサート
20:45-21:00	ニュース8823

次画面があるときは、方向ボタン（▶）で画面を切り換えられます。

方向ボタン（◀）で、前画面に戻ります。

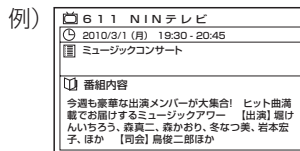
5 **方向ボタン（▲/▼）で、番組内容を見たい番組を選び、「決定」を押す**

サブメニューが表示されます。

6 **方向ボタン（▲/▼）で、［番組内容］を選び、「決定」を押す**

番組内容が表示されます。

番組内容の続きがあるときは、方向ボタン（▼）を押すと次画面が表示されます。

例）

「**メニュー**」を押すと、視聴中の番組に戻ります。

お知らせ

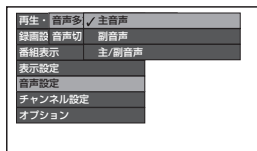
- 番組表および番組内容は放送波にのせて放送局から送られてくる内容を表示しています。そのため、放送局や時間帯などによっては、番組の表示数が少なくなることがあります。
- 放送によっては、番組内容が表示されません。
- 番組に関するデータが取得されていない場合は番組表や番組内容を表示できません。
- 番組表が表示されるまで時間がかかることがあります。

映像や音声を切り換える

音声を切り換える

1 メニューから、**方向ボタン**（▲/▼）で［音声設定］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（▲/▼）で設定する項目を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲/▼）で項目の内容を選び、「**決定**」を押す

現在の設定にチェックマーク（✓）が表示されています。

お知らせ

• 電源を切っても設定はメモリーされます。

■ 音声多重切り換え

主音声と副音声が放送されている番組の場合に、どちらを優先して聞くかを設定します。

主音声（お買い上げ時の設定）
副音声
主／副音声

お知らせ

• 二重音声放送ではないときには、主音声での視聴となります。

■ 音声切り換え

複数の音声信号が放送されている番組の場合に、音声を切り換えることができます。

音声１（お買い上げ時の設定）
音声２

お知らせ

• ［音声２］が放送されていないときには、［音声１］に設定されます。

● リモコンで音声を切り換える

「**音声**」を押す

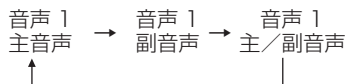
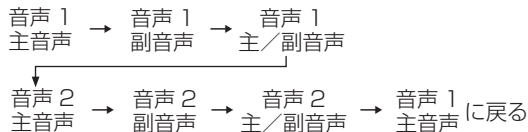
現在の音声設定が表示されます。
押すたびに音声が切り換わります。

例)

- 通常の放送の場合
- 音声多重放送の場合

音声1 主音声 → 音声1 副音声 → 音声1 主/副音声 →(音声1 主音声に戻る)

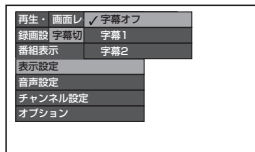
- マルチ放送の場合

音声1 主音声 → 音声1 副音声 → 音声1 主/副音声 → 音声2 主音声 → 音声2 副音声 → 音声2 主/副音声 → 音声1 主音声 に戻る

放送によって音声の内容が異なり、二重音声放送や複数の音声放送が行なわれていない番組もあります。

字幕を切り換える

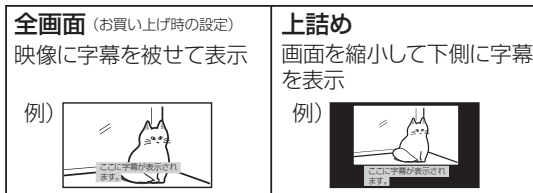
1 メニューから、**方向ボタン**(▲/▼)で[表示設定]を選び、**「決定」**を押す

2 **方向ボタン**(▲/▼)で、設定する項目を選び、**「決定」**を押す

3 **方向ボタン**(▲/▼)で項目の内容を選び、**「決定」**を押す

現在の設定にチェックマーク(✓)が表示されています。

お知らせ
- 電源を切っても設定はメモリーされます。

■ 画面レイアウト

字幕が放送されている番組の場合に、字幕を表示する位置を設定します。

お知らせ

- 放送によっては、上記のような表示にならない場合があります。

■ 字幕切り換え

字幕が放送されている番組の場合に、字幕の表示を切り換えることができます。

字幕オフ（お買い上げ時の設定）
字幕１
字幕２

● リモコンで字幕を切り換える

「**字幕**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。
押すたびに字幕が切り換わります。

例）

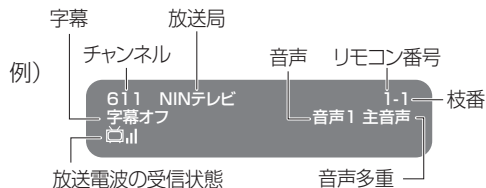
字幕１ → 字幕２ → 字幕オフ

お知らせ

- 字幕放送がされていないときには、字幕は表示されません。
- 放送によっては、字幕の内容が異なります。

受信状況を確認する

■ 現在の情報を表示する

「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押す

チャンネルや字幕・音声の状態などの情報が表示されます。

画面表示を消すには「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押します。

● 放送電波の受信状態について

このマーク表示は、電波状態の強弱の目安です。

- ✕ が表示されているときは、放送電波の状態が悪く受信できません。受信状態が悪いときには、受信場所を移動したり、アンテナを調整してみてください。

チャンネルの設定を変更する

■ チャンネルの表示番号を変える(チャンネルを別の番号に変える)

ふだんお使いのテレビと違うチャンネルに設定された放送局は、番号を変えて使うと便利です。

1. メニューから、[チャンネル設定]を選び、「**決定**」を押す
2. [チャンネルリスト設定] を選び、「**決定**」を押す
3. チャンネルリストを選び、「**決定**」を押す
4. [リモコンキー変更] を選び、「**決定**」を押す
5. 番号を変えたい放送局を選び、「**決定**」を押す

   次の画面があるときは [次画面] を選び、「決定」を押すと表示されます。
6. **番号ボタン**で、使いたい番号を入力する

   2ケタの数字を入力するときは、+10ボタンを先に押します。

   例)「12」を入力:+10*→2　*「シフト」を押しながら
7. 「**決定**」を押す
8. [はい] を選び、「**決定**」を押す

お知らせ
- チャンネルを設定し直すと、この設定内容は消去されます。

■ チャンネルリストを切り換える

出張や旅行など、ふだんと違う放送エリアでお使いのときは、チャンネルリストを切り換えます。

1 メニューから、[チャンネル設定]を選び、「**決定**」を押す

2 [チャンネルリスト設定] を選び、「**決定**」を押す

3 チャンネルリストを選び、「**決定**」を押す

4 [リスト選択] を選び、「**決定**」を押す

選んだチャンネルリストにチェックマーク（ ✓ ）がつきます。

[番組表示] で [チャンネルリスト] を選ぶと（52 ページの手順4）、このチャンネルリストが表示されます。

お知らせ
- 録画予約できるのは、チャンネルリスト1の放送だけです。チャンネルリスト2、3の番組は録画予約できません。（放送中の番組を録画することはできます。）
- チャンネルリスト2、またはチャンネルリスト3に切り換えて視聴中は、チャンネルリスト1で録画予約した番組は録画されません。予約録画を実行させる場合は、予約録画開始時刻の約5分前までにチャンネルリスト1へ必ず切り換えてください。切り換えが行なわれない場合は、視聴中の画面が正しく表示されません。

■ 設定したチャンネルを削除する

1 メニューから、[チャンネル設定]を選び、「**決定**」を押す

2 [チャンネルリスト設定] を選び、「**決定**」を押す

3 チャンネルリストを選び、「**決定**」を押す

4 [単一チャンネル削除] を選び、「**決定**」を押す

このチャンネルリストの放送局をすべて消すときは、[全チャンネル削除] を選びます。手順6へ。

5 **方向ボタン**（▲/▼）で、削除するチャンネルを選び、「**決定**」を押す

6 [はい] を選び、「**決定**」を押す

チャンネルが削除されます。

録画の前に

ワンセグ放送を本機で録画するには、SDカード(28ページ)を本機に入れます。

- ライトプロテクトタブのロックは解除してください。
- カードによっては、お使いになれないものや本機での初期化(75ページ)が必要な場合もあります。

1枚のSDカードに録画可能な番組数： 最大99件
録画予約可能な番組数： 最大16件(7日先まで)
SDカードへの記録時間の目安* (ビットレート384kbpsで算出。放送のデータ量などにより異なります。) 1GB：約5時間44分 2GB：約11時間29分 4GB：約22時間21分 32GB：約184時間14分 1番組の連続録画可能時間は約11時間30分です。(ただし、2GB以上の空き容量が必要です。)

* バッテリーパック使用時には、上記に関わらず、バッテリー残量がなくなるまでの録画となります。

- 本機のSDカードへの録画は、SD-Video規格に対応しています。ただし、同規格対応の他の機器(ワンセグ対応の携帯電話など)で録画した番組の本機での再生、および本機で録画した番組の他の機器での再生を保証するものではありません。
- 録画した番組は、パソコンや他のメモリーカードなどにコピーまたは移動することはできません。
- お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他の人に渡したり貸したりした場合にも著作権法上問題となることがあります。

ご注意！

- SDカードの読み出し中、録画中、再生中、削除中などはプラグを抜いたり、SDカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

■録画とモード

録画時でも、モードを切り換えてお使いいただけます。([**SDカード**]を除く)

動作＼モード	DVD/CD	SDカード	AV入力
録画中	切換えできます ○	切換えできません ×	切換えできます ○
予約録画の開始時刻が近づくと…	そのまま継続できます ○	自動的に[**TV/SD-V**]に切り換わります ×	そのまま継続できます ○

■録画方法の選びかた

今すぐ録画する	**視聴中の番組を録画する**	60ページ
先の番組で、放送時間やチャンネルがわかっているとき	**録画予約する**	62ページ
録画したい番組の放送時間がわからないとき	**番組表から録画予約する**	63ページ

安定した録画のために

- 録画時には、バッテリーの残量不足で録画できないことがないように、ACアダプターの使用をおすすめします。
- 本機を受信状態のよい場所に置いてください。受信には室内のアンテナ端子への接続(44 ページ)をおすすめします。
- 電源切状態からの予約録画を正しく実行させるには、予約一覧の内容を確認してから、「電源」を押して本機の電源を切ってください。

お願い

- 予約録画の実行や登録には、本機の時計が設定されている必要があります。本機の電源が外れた状態が長期間続くと、時計の設定が消える場合があります。これは、本機の時計が放送波に含まれる時刻の信号を検知して自動的に設定されるしくみのためです。(手動での時計設定はできません。)時計が合っていないと、予約録画が正しく実行されません。本機をお使いにならない状態が約7日間続いたあとは、まず、時計が設定されるよう本機でテレビを受信してください。設定は数分の受信で完了します。なお、本機の現在時刻は、番組リスト(52 ページ)の上部で確認できます。

お知らせ

- 録画の予約後に、本機を移動させるなどして受信状況が変わった場合、予約した番組が正しく録画されないことがあります。大事な録画の前には、録画したいチャンネルの受信と予約内容を、事前に確認しておくことをおすすめします。
- SDカードの空き容量がなくなると、録画できません。録画前にはSDカードの残量を確認してください。(66 ページ)また、SDカードの容量がいっぱいになる前に、見終わった不要な録画番組はこまめに削除することをおすすめします。
- 録画中に本体の液晶画面部を閉じても、録画は継続します。

以下の場合は、録画が中断、または実行されなかったり、録画が正しく行なわれないことがあります。

- ACアダプターが接続されていない、または、バッテリーパックが取り付けられていない。
- ワンセグ放送視聴中にACアダプターが抜かれて本機の電源が切れた。
- バッテリー残量が少ないとき。(ゼロに近づくと、液晶画面にマークが表示されます。この時点でACアダプターをつないでも、録画は継続せず自動的に終了しますのでご注意ください。)
- バッテリー残量がゼロに近づいて本機の電源が切れたあと、ACアダプターをつないで放置した。
- 電波の受信状況が不安定、または受信できない。
- 録画可能なSDカードが本機にはいっていない。
- SDカードの容量がいっぱいになった。
- 録画タイトルが99件ある。
- 連続録画可能時間を越えた。
- 視聴中の番組を録画中に予約録画開始時刻になった場合、予約録画は実行されません。
- 無電源の状態が長く続いたために本機の時刻情報が消えている。

免責事項

- 本製品またはメモリーカードの不具合、衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊・喪失、録画・録音されなかった場合の内容の補償について、当社は一切の責任を負いません。
- 記憶装置(SDカードなど)に記録された内容は故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。

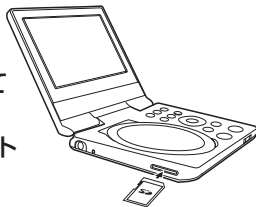
SDカードをセットする

番組を記録するSDカード（市販品）をセットします。記録可能なSDカードが挿入されていないと録画できません。

セットする前に、28 ページ～の「SDカードについて」をよくお読みください。

ご注意！

- SDカードの読み出し中、録画中、再生中、消去中などはSDカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

SDカードの向きに気をつけて（金属部（金色の部分）が下になるように）**カードスロットに入れる**

入れかた
「カチッ」と音がするまで差し込みます

取り出しかた
カードの中央を押し、ゆっくりとまっすぐ引き出します

お知らせ

- カードスロットにはSDカード以外のものを入れないでください。

視聴中の番組を録画する

■準備

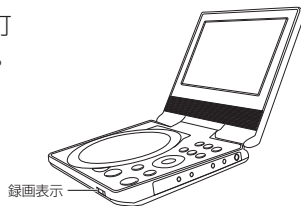
- SDカードをセットする。
- 録画したいチャンネルを選局する。
- より安定した環境で録画するには、室内のアンテナ端子への接続とACアダプターの使用をおすすめします。

1 番組視聴中に「録画」を押す

メッセージが表示されます。

この番組を録画しますか？
はい
いいえ

2 方向ボタン（▲/▼）で［はい］を選び、「決定」を押す

本体の録画表示が点灯し、録画が始まります。

[番組録画自動終了]機能が[オン]に設定されていると、録画した番組の終了時に、自動で録画を停止します。

お買い上げ時は、この機能が [オン] に設定されています。[オフ]に設定されているときは、番組終了後も録画を継続します。

設定を変更するには、68 ページをご覧ください。

■ 録画を停止する

1 「**停止**」を押す

メッセージが表示されます。

2 **方向ボタン**（▲/▼）で[はい]を選び、「**決定**」を押す

録画を終了します。

お知らせ

- メニューから [再生・録画] > [録画] > [録画開始] を選んで録画することもできます。
- 録画時、停止時には映像と音声の出力までに数秒かかります。
- 録画中に「電源」を押すと、録画を中止して電源を切るかどうか確認メッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]を選び、「決定」を押してください。[はい] を選ぶと、録画を中止して内容を保存後に電源が切れます。(電源を切らずに液晶画面をオフにすることもできます。67 ページ)
- 録画中は、他のチャンネルへの切換えや、チャンネルサーチはできません。
- 予約録画開始前約 1 分以降と録画中は、以下のメニュー項目の操作はできません。
  - [再生・録画] > [再生] / [録画]
  - [録画設定]
  - [番組表示]
  - [チャンネル設定]
  - [オプション] > [出荷時設定]
- 録画できるのは、本機で受信したワンセグ放送に限ります。ディスクや外部機器の入力信号をダビングすることはできません。

録画予約する

日時やチャンネルを指定して録画予約します。

■ 準備

- SDカードをセットする。
- チャンネルリスト1に切り換え（57ページ）、録画したい放送局の受信を確認する。
- より安定した環境で録画するには、室内のアンテナ端子への接続とACアダプターの使用をおすすめします。

1 メニューから、方向ボタン（▲/▼）で［再生・録画］を選び、「決定」を押す

録画中は録画予約できません。録画をしていない状態で操作してください。

2 方向ボタン（▲/▼）で［録画］を選び、「決定」を押す

3 方向ボタン（▲/▼）で［予約一覧・予約追加］を選び、「決定」を押す

4 方向ボタン（▲/▼）で［新規登録］を選び、「決定」を押す

例）

予約一覧
総予約時間 0時間30分
新規登録
3/1(月) 10:00-10:30 611 NINテレビ

5 チャンネル、日時を設定する

項目の設定のしかた

方向ボタン（◀/▶）：項目を選ぶ

方向ボタン（▲/▼）：値を変える

例）

- **録画日:** 現在より7日先まで予約できます。
- **毎回録画:** 選んだ番組を毎回予約録画するように設定できます。（毎日曜日～毎土曜日／毎月一木／毎月一金／毎月一土／毎日）

録画予約
NINテレビ
チャンネル 日付 開始 終了
611 - -/- - - -:- - - -:- -
SDカード情報
空き容量 : 1.89 GB
録画可能時間 : 11時間23分
録画数 : 1/99

チャンネル

開始時刻 現在時刻の約2分後から設定できます。

終了時刻* 2分以上を設定してください。

SDカードの空き容量などが確認できます。

* 日付をまたぐ時間帯（例：23:45—0:15）の設定時は「日付」の翌日の時刻を意味します。

6 「決定」を押す

終了時刻（分）にカーソルがある状態で「決定」を押します。

録画予約が設定され、予約内容が予約一覧画面に表示されます。

「メニュー」を押すと、視聴中の放送に戻ります。

お知らせ

- ［録画自動延長］（ 69 ページ）を［オン］に設定してあるときは、手順５で設定した終了時刻にかかわらず、番組が終わるまで録画します。
- 録画開始時刻の直前に、録画番組の全件削除など時間のかかる処理を行なっていると、録画の準備が始められず、録画が未実行（ 65 ページ）となることがあります。ご注意ください。

番組表から録画予約する

1 62 **ページの手順１、２を行なう**

2 方向ボタン（▲/▼）で［番組表録画予約］を選び、「決定」を押す

3 番組表から録画したい番組を選び（ 52 ページ参照）、「決定」を押す

例）

|◷2010/3/1(月)18:55|
📺６１１　NINテレビ　今日

時間	番組
18:52-19:00	明日の天気?
19:00-19:30	NINニュース7時
19:30-20:45	ミュージックコンサート
20:45-21:00	ニュース8823

番組表に表示されている時間よりも先の番組を予約したい場合は、日時やチャンネルを指定して録画予約してください。

4 方向ボタン（▲/▼）で［録画予約］を選び、「決定」を押す

例）

選んだ番組が録画予約され、登録の内容が予約一覧に表示されます。

「メニュー」を押すと、視聴中の放送に戻ります。

お知らせ

- 52 ページ「番組表を表示する」の手順６で、［録画予約］を選んでも、録画予約できます。
- 放送中の番組は、番組表から録画予約できません。

録画予約を確認／変更する

1 メニューから、**方向ボタン**（▲／▼）で[再生・録画] を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（▲／▼）で[録画] を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲／▼）で[予約一覧・予約追加] を選び、「**決定**」を押す

予約一覧が表示されます。

この画面で、予約した内容を確認できます。

例）

予約一覧
総予約時間　0時間30分
新規登録
3/1(月) 10:00-10:30　611 NINテレビ

次画面があるときは方向ボタン（▶）で画面を切り換えられます。

方向ボタン（◀）で、前画面に戻ります。

4 予約内容を変更する場合は、**方向ボタン**（▲／▼）で、変更したい録画予約を選び、「**決定**」を押す

5 [予約変更] を選び、「**決定**」を押す

6 予約内容を変更する

例）

方向ボタン（◀／▶）
項目を選ぶ

方向ボタン（▲／▼）
値を変える

変更のしかたについて詳しくは、62 ページの「項目の設定のしかた」をご覧ください。

7 「**決定**」を押す

予約が変更され、予約一覧に変更後の予約内容が表示されます。

「メニュー」を押すと、視聴中の放送に戻ります。

お知らせ

- 実行されなかった録画予約は、設定した日時が過ぎても予約一覧に残ります。65 ページの「録画予約を取り消す」の手順で予約一覧から削除してください。

録画予約を取り消す

1 64 ページの「録画予約を確認／変更する」の手順１～３を行なって、予約一覧を表示させる

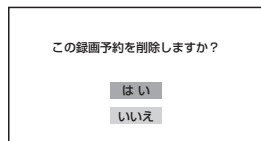
2 方向ボタン（▲/▼）で、削除したい録画予約を選び、「**決定**」を押す

3 ［予約削除］を選び、「**決定**」を押す

メッセージが表示されます。

この録画予約を削除しますか？

はい

いいえ

4 方向ボタン（▲/▼）で［はい］を選び、「**決定**」を押す

予約一覧から削除されます。

未実行の録画予約について

実行されなかった録画予約は、予約一覧に『未実行』と表示されます。

予約一覧から『未実行』の番組を選び、「決定」を押すと、録画されなかった原因が表示されます。

「決定」を押すと、確認メッセージが表示されます。［はい］を選び、「決定」を押すと予約一覧から削除されます。

お知らせ

- 未実行の録画予約も予約件数に含まれます。録画できなかった理由を確認後、予約一覧から削除してください。
- 『未実行』の原因に「他の実行により録画予約をキャンセルしました」と表示されたときは、予約録画の準備中に、削除などの時間のかかる処理を行なっていたり、ACアダプターなどがはずれていたりした可能性があります。

SDカードの残量を調べる

録画可能時間やSDカードの空き容量、予約数などSDカード内の情報を確認できます。

1 メニューから、**方向ボタン（▲/▼）**で［再生・録画］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン（▲/▼）**で［録画］を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン（▲/▼）**で［SDカード情報］を選び、「**決定**」を押す

SDカード情報が表示されます。

例）

SDカード情報

SDカード空き容量	1.28GB
予約番組数	1
総予約時間	1時間 2分
録画可能時間	7時間46分
録画済番組数	44/99
録画済時間	4時間52分

予約録画の動作と実行中の操作

■ 予約録画の動作と電源

予約録画の開始時刻になると、電源の入／切にかかわらず、録画が始まります。

予約録画が開始するまでは、通常通り操作することができます。ただし、録画開始時刻の約１分前になると、録画するチャンネルに切り換わり、録画が終了するまで他のチャンネルへの切り換えはできません。

電源を切っている場合は、予約録画開始時刻の約５分前に自動的に電源がはいり、開始時刻になると液晶画面の表示はオフのままで録画を始めます。

予約録画が始まると、本体の録画表示が点灯します。

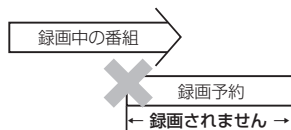
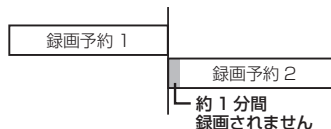
録画表示

録画終了後は、本体の録画表示が消灯し、電源が切れます。

録画番組を視聴していたときは、録画を終了し、電源は入ったままになります。

テレビの録画・再生

■ こんなときは予約録画が実行されません

録画中に予約録画の開始時刻になると、動作中の録画を優先して継続し、予約録画は行なわれません。

録画終了時刻と次の予約録画開始時刻が同じときは、次の予約の最初の部分（約１分間）は録画されません。

お知らせ

- 他の録画予約と重複する時間帯には録画予約できません。
- 実行されなかった録画予約は、予約日時が過ぎても予約一覧に残ったままになります。
- 録画が中断、または正常に録画できなかった場合でも、録画件数は１件としてSDカードに記録されます。
- 予約録画前や実行中に、アンテナの向きを変えたり場所を移動するなどして受信状態を悪くしないようにご注意ください。

■ 予約録画待機中と録画中の液晶画面を入り切りする

● オンにする

1 「**電源**」を押す

液晶画面と音声がオンになります。

● オフにする（予約録画開始時刻の約５分前から可能です。）

1 「**電源**」を押す

録画を停止して電源をオフにするかどうかの確認メッセージが表示されます。

2 ［いいえ］を選び、「**決定**」を押す

液晶画面をオフにするかどうかの確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］を選び、「**決定**」を押す

液晶画面と音声がオフになります。

- ［**TV/SD-V**］モード以外のときは、「電源」を押すとオフになります。（電源は切れずに、録画が実行されます。）

■ 予約録画を途中で止める

1 予約録画中に「**停止**」を押す

メッセージが表示されます。

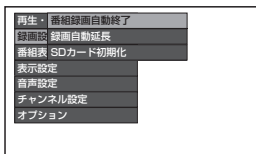
2 **方向ボタン**（▲/▼）で［はい］を選び、「**決定**」を押す

録画を終了します。

録画の機能と設定

以下の機能のオン／オフを設定できます。
• 番組録画自動終了
• 録画自動延長
([SD カード初期化] については 75 ページをご覧ください。)

1 **メニューから、方向ボタン(▲/▼)で[録画設定]を選び、「決定」を押す**

2 **方向ボタン(▲/▼)で、設定する項目を選び、「決定」を押す**

3 **方向ボタン(▲/▼)で[オン]または[オフ]を選び、「決定」を押す**

オン：機能が働きます

オフ：機能は働きません

設定したほうにチェックマーク(✓)がついています。

■ 番組録画自動終了

録画中の番組が終了した時点で、録画を停止する機能です。

番組視聴中に録画をはじめたとき、録画を止める操作をしなくても番組終了時に自動で録画を停止するので便利です。

お買い上げ時は、[**オン**]に設定されています。

[**オフ**]に設定すると、この機能は働きません。ボタン操作で録画を停止してください。

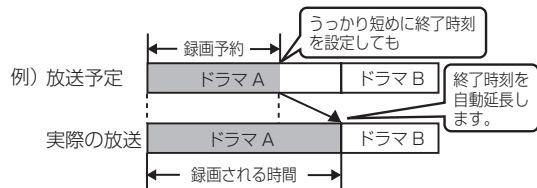
お知らせ
• [オン] に設定していても録画を開始してから約 1 分以内に番組終了時刻が来たときは、次の番組が終了した時点で録画を自動終了します。

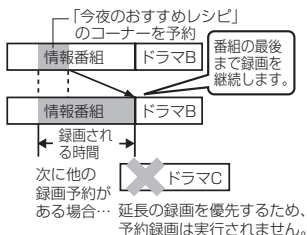
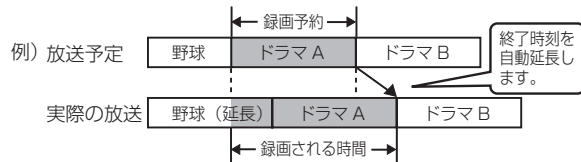
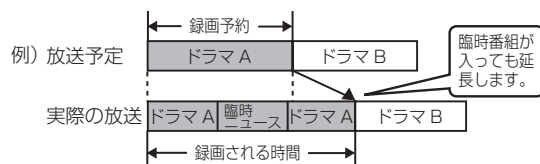
■録画自動延長

終了時刻の予約設定にかかわらず、実際の放送にあわせて録画を終了させる機能です。

終了時刻をうっかり早めに設定しても、番組は最後まで録画できます。また、直前の野球中継などが長引いたあとの予約番組も、途切れず最後まで録画できます。

お買い上げ時は、[**オフ**]に設定されています。

● 録画を開始した番組は最後まで録画

お知らせ

- [オン]に設定してあるときは、番組を途中から一部分だけ録画予約した場合でも、その番組の最後まで録画します。このとき、他の録画予約があっても延長録画が優先されるため、録画予約が実行されませんのでご注意ください。

● 番組の繰り下げに対応

● 番組の中断・再開に対応

※ 放送によっては対応できない場合があります。

お知らせ

- 開始時刻の変更には対応していません。
- この機能は、放送波にのせて送られてくる信号を感知して働きます。放送の内容によっては、これらの例のとおりに録画されないことがあります。

録画した番組を再生する

SDカードに録画した番組を再生します。

■ 準備

- 再生するSDカードをセットする。

1 メニューから、方向ボタン（▲/▼）で[再生・録画]を選び、「決定」を押す

2 方向ボタン（▲/▼）で[再生]を選び、「決定」を押す

3 方向ボタン（▲/▼）で[再生ファイルリスト]を選び、「決定」を押す

録画番組の一覧が表示されます。

例）

次画面があるときは方向ボタン（▶）で画面を切り換えられます。

方向ボタン（◀）で、前画面に戻ります。

4 方向ボタン（▲/▼）で再生したい番組を選び、「再生」または「決定」を押す

選んだ番組の再生が始まります。

再生を止めるには、「**停止**」を押します。
停止すると、再生リスト画面に戻ります。

再生を一時停止するには、「**一時停止**」を押します。
「**再生**」を押すと、通常の再生に戻ります。

● 再生リストに表示される番組名について

複数の番組にまたがって録画した場合、再生リストに表示される番組名は、最初の番組名になります。

例）

この場合、「ドラマA」の番組名が再生リストに表示されます。

お知らせ

- 他の機器で録画した番組を本機で再生することについては保証していません。
- 正常に録画ができなかった場合、再生できないことがあります。

- 録画中に受信状態が悪くなった区間は録画されません。再生すると、区間にはいる直前の静止画が続きます。早送りでその区間はスキップできます。
- 受信状態が悪いと、録画番組にファイル名がつかないことがあります。このようなファイルは削除してください。

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置をSDカードが記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生が始まります。

- 続き再生をしないで、はじめから再生したいときは、「停止」を2回押すと、位置の記憶情報が消去されます。

最後の停止位置は、録画番組1件ごとに記憶されます。どのファイルも、それぞれ前回停止した位置から見られます。

お知らせ
- 番組によって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 録画ファイルによっては続き再生できない場合があります。
- SDカードのライトプロテクトタブが「LOCK」側になっているときは、再生位置の記憶や続き再生の解除はできません。

再生中の操作

■ 早戻し／早送りする

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「**再生**」を押します。

- 本体の「スキップ」を押したままにすると、早戻し／早送りの再生になります。

お知らせ
- 早戻し／早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早戻し／早送りの速さは、番組によって異なります。

■ 前後の番組へスキップする

「**スキップ**」（I◀◀/▶▶I）をくり返し押す

▶▶I：再生リストの次（1つ下）の番組を再生します。

I◀◀：現在の番組の先頭から再生します。連続して押すと、再生リストの前（1つ上）の番組を再生します。

■ 音声を切り換える

53 ページの「音声を切り換える」をご覧ください。

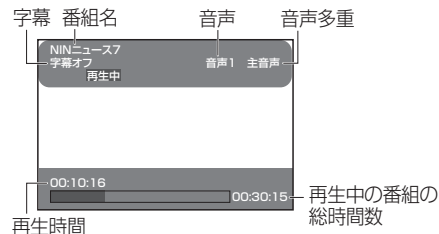
■ 字幕を切り換える

54 ページの「字幕を切り換える」をご覧ください。

■ 再生時間や情報を表示する

再生中に、「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押す

再生中の番組の情報が表示されます。

例)

もう一度「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押すと、画面表示が消えます。

お知らせ

- 情報の表示中は、字幕を表示できません。
- 他の機器で録画した番組は、情報表示されない場合があります。
- 別の録画番組にスキップしたときは、表示は消えます。表示を出すには、もう一度、「シフト」を押しながら「表示」を押してください。

録画した番組を削除する

SDカード内の録画番組を削除（1件または全件）します。SDカードの空き容量がなくなると、録画できません。SDカードの容量がいっぱいになる前に、見終わった不要な録画番組はこまめに削除することをおすすめします。

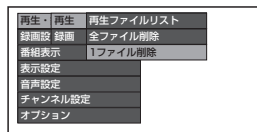
ご注意！

- 一度削除された録画番組は元には戻せません。誤って削除しないようご注意ください。

1件ずつ削除する

1 メニューから、**方向ボタン（▲/▼）**で［再生・録画］を選び、**「決定」**を押す

2 **方向ボタン（▲/▼）**で［再生］を選び、**「決定」**を押す

3 **方向ボタン（▲/▼）**で［1ファイル削除］を選び、**「決定」**を押す

録画番組の一覧が表示されます。

4 **方向ボタン（▲/▼）**で、削除する番組を選び、**「決定」**を押す

メッセージが表示されます。

5 **方向ボタン（▲/▼）**で［はい］を選び、**「決定」**を押す

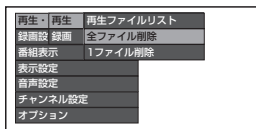
選んだ番組が削除されます。

テレビの録画・再生

全件削除する

1 メニューから、**方向ボタン**(▲/▼)で[再生・録画]を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**(▲/▼)で[再生]を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**(▲/▼)で[全ファイル削除]を選び、「**決定**」を押す

メッセージが表示されます。

4 **方向ボタン**(▲/▼)で[はい]を選び、「**決定**」を押す

SDカード内に保存されているすべての録画番組が削除されます。

ワンセグ機能の管理

SDカードの初期化（フォーマット）

初期化を行なうとSDカード内のすべてのデータが消去されます。ご注意ください。

※ 本機以外で記録したデータもすべて消去されます。

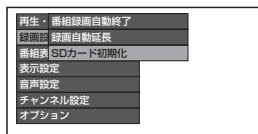
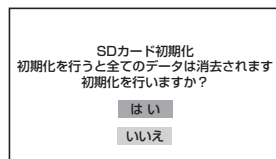
■ 準備

- 初期化するSDカードをセットする。

1 メニューから、**方向ボタン**（▲/▼）で［録画設定］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（▲/▼）で［SDカード初期化］を選び、「**決定**」を押す

3 **方向ボタン**（▲/▼）で［はい］を選び、「**決定**」を押す

SDカード初期化
初期化を行うと全てのデータは消去されます
初期化を行いますか？
はい
いいえ

初期化が始まります。
完了のメッセージが表示されるまで、電源を切らずにお待ちください。

4 完了のメッセージが表示されたら、「**決定**」を押してメッセージを消す

ご注意！

- 初期化中はSDカードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。そのSDカードが使用できなくなるおそれがあります。
- 初期化を行なうときは、バッテリーの残量不足で初期化が中断しないようにACアダプターを接続してください。

■ 設定を出荷時に戻す

［**TV/SD-V**］モードでの設定を、すべてお買い上げ時の状態に戻します。
録画予約も消去され、チャンネルもすべて消えて未設定の状態に戻ります。

1 メニューから［オプション］を選び、「**決定**」を押す

2 ［出荷時設定］を選び、「**決定**」を押す

3 ［はい］または［いいえ］を選び、「**決定**」を押す

はい：　設定を出荷時の状態に戻します。

いいえ：現在の設定のままで選択を終了します。

■ 本機のソフトウェアのバージョンを表示する

1 メニューから［オプション］を選び、「**決定**」を押す

2 ［バージョン表示］を選び、「**決定**」を押す

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

表示は数秒で消えます。

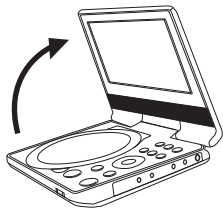
ディスクの再生

ディスクを再生してみましょう。

- ●ディスクを入れる
- ●ディスクを再生する
- ●再生の速さを変える
- ●見たいシーンを探す
- ●順不同に再生する（ランダム再生）
- ●くり返し再生する（リピート再生）
- ●好きな順番で再生する（メモリー再生）
- ●拡大する（ズーム再生）
- ●アングル（場面の角度）を切り換える
- ●字幕の言語を切り換える
- ●音声を切り換える
- ●音楽／動画・画像ファイルを再生する
- ●広がりのある音にする
- ●操作状況や情報を表示させる

ディスクを入れる

再生できるディスクは、26 ページでご確認ください。

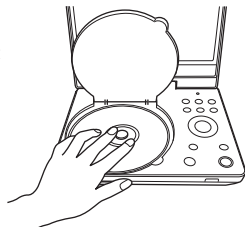
1 液晶画面部を開く

2 本体の「オープン」を押す

ディスクカバーがあきます。

はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

4 ディスクカバーを閉める

ディスクカバー手前の凸部を押して閉めます。

■ディスクを取り出すときは

本体の「**オープン**」を押して、ディスクカバーをあけ、完全に停止したディスクを（回転が続いていることがありますのでご注意ください）、ふちから静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。

⚠注意

- **回転中のディスクに触れないこと**
  けがや故障の原因となります。
- **ディスクカバーを閉めるとき、手を入れないこと**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- **ディスクカバーは、無理な角度まであけないこと**
  故障の原因になります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- **本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。
- **長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと**
  ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

禁　止

ディスクを再生する

DVD-V VCD CD

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を、以下のマークで表わしています。

DVD-V：DVDビデオディスク　VCD：ビデオCD　CD：音楽用CD

■ 準備

- 本機の電源を入れる。
- 再生するディスクを本機に入れる。

ご注意！

- 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

1 39 ページの手順で［DVD/CD］モードに切り換える

2 「再生」を押す

再生が始まります。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。DVDビデオディスクのときは「トップメニューを使う」(81 ページ)をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。(DVDビデオディスクによって異なります。)
- 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」(92 ページ)をご覧ください。

3 再生を止めるには、「停止」を押す

続き再生機能(レジューム再生)について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生が始まります。

- 続き再生の情報は、ディスク5枚分まで本機に記憶することができます。6枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を2回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ

- PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき(「機能設定」章を参照)にはこの機能は働きません。
- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、「**一時停止**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

音量を調節する

リモコンの「**音量**」（＋／－）を押す
または
本体の「**音量**」（▲/▼）を押したままにする

＋、▲：音量が上がる

－、▼：音量が下がる

お願い

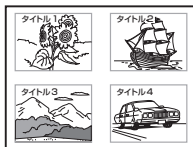
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

トップメニューを使う

DVD-V　VCD　CD

1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

例）

2 **方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついていれば、番号ボタンでも選べます。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター１から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

画面を焼付きから保護するための機能です(焼付き防止を保証するものではありません)。

ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」(「機能設定」章を参照)を「オン」に設定しているとき)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。

再度お使いのときは、電源を入れなおしてください。

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください(なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V VCD CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

- 本体の「スキップ」を押したままにすると、早戻し／早送りの再生になります。

お知らせ
- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V VCD CD

一時停止中に、「**一時停止**」を押す

1回押すごとに、1コマずつ進みます。

コマ送り再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スローモーションで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**シフト**」を押しながら「**スロー（早送り／早戻し）**」を押す

「スロー（早戻し）」ボタンを操作すると、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

押すたびに、速さが切り換わります。

スローモーション再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V VCD CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

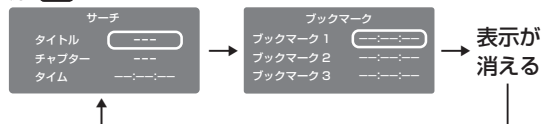
▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

番号を指定してシーンを探す

1 「T」を数回押して、画面に［サーチ］を表示させる

押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

2 方向ボタン（▲／▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ

- タイトル、チャプター、トラックで探したい場合は、［タイトル］、［チャプター］、または［トラック］を選びます。
- 見たいシーンを、ディスクの経過時間を指定して探したい場合は、［タイム］を選びます。

  CDの場合：
  ［タイム］ 現在のトラックの経過時間を指定
  ［ディスクタイム］ ディスク全体の経過時間を指定

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例）「25」を入力するには「2」→「5」の順に押します。

  DVDビデオディスクでは、［タイトル］と［チャプター］の入力位置を、方向ボタン（▲／▼）で切り換えられます。
- タイムの例）１時間25分30秒の経過時間を入力する

  「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

4 「再生」または「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ

- 番号を設定前に戻す場合は、「シフト」を押しながら「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクや箇所によっては、経過時間を使ってシーンを探せないことがあります。

目印をつけて好きなシーンを再生する（ブックマーク機能）

次の「目印（ブックマーク）をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「T」を数回押して、画面に[ブックマーク] を表示させる

押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、登録されているブックマークを選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■ 目印（ブックマーク）をつける

3箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**一時停止**」を押して、再生を一時停止させる

2 「**T**」を数回押して、画面に [ブックマーク] を表示させる

3 **方向ボタン**（▲/▼）を押して、登録先を1、2、3から選ぶ

取り消すときは、「T」を押して表示を消します。

4 表示が[−− : −− : −−]でないときは、「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押して、設定内容を取り消す

5 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。

お知らせ

- ディスクや箇所によっては、ブックマークに登録できないことがあります。
- ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD-V VCD CD

1 **再生中に、「シフト」を押しながら「ランダム」を押して、画面に[ランダム]を表示させる**

押すたびに、[ランダムオフ]と[ランダム]が切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

[ランダム]を表示させると、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

[ランダムオフ]が表示されるまで、くり返し「**シフト**」を押しながら「**ランダム**」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 以下の場合は、ランダム再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を2回押すと、ランダム再生を解除して再生を終了します。

くり返し再生する(リピート再生)

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する(A-Bリピート再生)

1 **くり返し再生したい範囲の始点(A)で、「A-B」を押す**

画面に[ABリピート_A]の表示が出ます。

2 **くり返し再生したい範囲の終点(B)で、「A-B」を押す**

自動的にA点に戻り、指定した範囲(AB間)のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、「A-B」を押します。

[リピートオフ]の表示が出ます。

お知らせ

- 「停止」を2回押すと、A-Bリピート再生を解除して再生を終了します。
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-B」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に、「シフト」を押しながら「リピート」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、リピートモードが切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

対応しているリピートモード

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	全リピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 以下の場合は、リピート再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を２回押すと、リピート再生を解除して再生を終了します。

好きな順番で再生する(メモリー再生)

DVD-V VCD CD

1 停止中に、「シフト」を押しながら「メモリー」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

ビデオCDは、トラック番号の入力になります。

2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1）**方向ボタン**（▲/▼）でT（タイトル）欄の［－－－］を選び、番号ボタンでタイトル番号を入力する

2）**方向ボタン**（▶）でC（チャプター）欄の［－－－］を選び、番号ボタンでチャプター番号を入力する
チャプター番号を入力せずにカーソルを移動させると、1）で入力したタイトル番号は［－－－］に戻ります。

3）1）～2）をくり返して、再生したい順番を設定する

• ディスクに存在しないタイトル番号やチャプター／トラック番号を入力しても、［－－－］に戻り、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン（▶）を押して、[▶再生]を選び、「決定」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■ 設定内容を取り消すには

• 方向ボタンで取り消したいタイトル番号、またはチャプター／トラック番号を選び、「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押すと、［－－－］に戻り、取り消されます。
• 画面上で［クリア］を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのメモリー内容が取り消されます。

■ メモリー再生を中止するには

「**停止**」を２回押す

（設定したメモリー内容は消去されます。）

お知らせ

• ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
• 以下の場合は、メモリー再生は解除されます。
　－ディスクメニューを表示させたとき
　－電源を切ったとき
　－ディスクカバーをあけたとき
• メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が停止します。

ディスクの再生

拡大する（ズーム再生）

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**ズーム**」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例）

x2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

- **倍率：「ズーム」をくり返し押す**

  [X2]（2倍表示）

  [X3]（3倍表示）

  [X4]（4倍表示）

  [オフ]（ズーム再生終了）

  の4通りで切り換わります。

- **位置：方向ボタン（▲/▼/◀/▶）を押す**

■ 普通の再生に戻すには

再生中に、画面に[オフ]が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

お知らせ

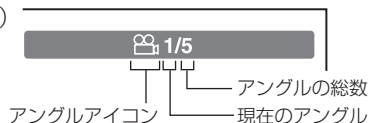
- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ズーム再生は解除されます。

アングル（場面の角度）を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、「**アングル**」を押す

画面にアングルアイコン［ ］が表示されます。

例）

タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**アングル**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**字幕**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。

3 字幕設定の表示中に、「**字幕**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に［オフ］が表示されるまで、「**字幕**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 **再生中に、「音声」を押す**

現在の音声設定が表示されます。

2 **音声設定の表示中に、「音声」を押す**

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

音楽／動画・画像ファイルを再生する

音楽用CD、音声ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(DivX®)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■MP3/WMAまたはDivX®ファイルの再生対応条件

対応メディア (MP3/WMA)	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリカード、SDHCメモリカード
対応メディア(DivX)	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート	WMA : 48 kbps ～192 kbps(CBR) MP3 : 32 kbps ～ 320kbps(CBR) DivX : 8 Mbps以下
フォーマット	MODE 1
ファイルシステム	MP3 : ISO9660レベル、UDF without interleave DivX : ISO14496
ファイル名	8文字以下で、拡張子「MP3」、「WMA」、「avi」または「divx」が付け加えられていること。 (例「○○○○○○○○.mp3」、 「○○○○○○○○.wma」、 「○○○○○○○○.avi」、 「○○○○○○○○.divx」) "?!><+*}{`[@]:;\ /.,"など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
WMAコーデック方式版	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)
DivXコーデック方式版	3、4、5、6(再生できるDivX®ファイル(Ver.6含む))通常再生にのみ対応しています。
DivX解像度	720×576(同等もしくはそれ以下)

■JPEGファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリカード、SDHCメモリカード
ファイルシステム	ISO9660、UDF without interleave
ファイル名	8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.jpg」) "?!><+*}{`[@]:;\ /.,"など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
ファイルサイズ	10Mバイト以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG:最大5760×4320 Progressive JPEG:最大5760×4320

MPEG Layer-3 オーディオ・コーディング技術は、フランフォーハーIISおよびトムソンのライセンスによるものです。

Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DivX、DivX Certified、およびそれらの関連ロゴはDivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス契約に基づく使用許可を受けています。

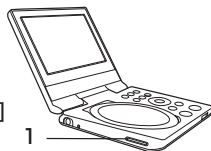
Covered by one or more of the following U.S. Patents:
7,295,673; 7,460,688; 7,519,274; 7,515,710;

お知らせ

• 対応または動作確認済みのメディアやファイルでも、状態や状況によっては動作しない場合があります。

SDカードを再生するとき

1　再生するSDカードをカードスロットに入れる

2　39 ページの手順で[**SDカード**]モードに切り換える

入れかた
「カチッ」と音がするまで差し込みます

取り出しかた
カードの中央を押し、ゆっくりとまっすぐ引き出します

お知らせ
・SDカードの読み出し中はSDカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

1 再生したいメディアを入れる

メニューが表示されます。

トラック／ファイル一覧　機能の一覧

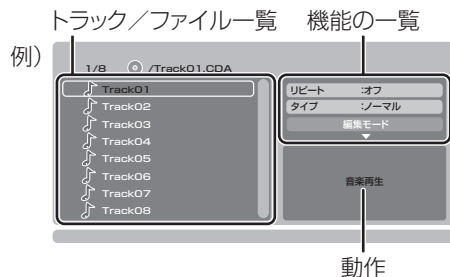
例）

1/8　/Track01.CDA

Track01
Track02
Track03
Track04
Track05
Track06
Track07
Track08

リピート　:オフ
タイプ　:ノーマル
編集モード

音楽再生

動作

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、1画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

■再生するファイルの種類を選択する

1枚のディスクに種類の異なるファイルが混在しているとき、指定した種類のファイルだけを再生できます。

1　**方向ボタン**で、機能の一覧から［フィルター］を選び、「**決定**」を押す

ファイルの種類が表示されます。

チェックマーク［✓］は選択中を示します。

例）

✓ 音声 ―― MP3／WMAファイルを指定
✓ 写真 ―― JPEGファイルを指定
✓ 映像 ―― DivXファイルを指定

2　ファイルの種類を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押して、チェックマーク［✓］のつけはずしをする

3　選び終わったら**方向ボタン**（◀）を押して、トラック／ファイル一覧に戻る

お知らせ
・市販の音楽用CDのときは、ファイルの種類の指定はできません。

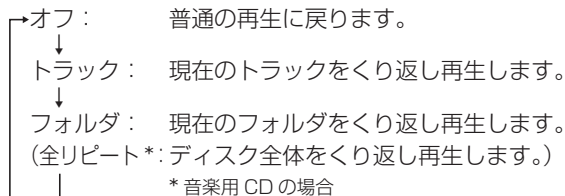
ディスクの再生

■ リピート再生をする

再生中に、**方向ボタン**で機能の一覧から [リピート] を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

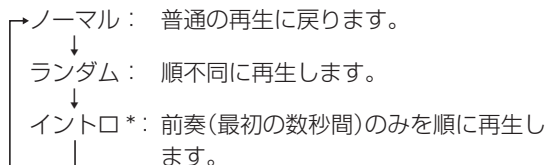
オフ： 普通の再生に戻ります。
↓
トラック： 現在のトラックをくり返し再生します。
↓
フォルダ： 現在のフォルダをくり返し再生します。
（全リピート*：ディスク全体をくり返し再生します。）

* 音楽用 CD の場合

■ ランダム／イントロ再生をする

再生中に**方向ボタン**で [タイプ] を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、タイプが切り換わります。

ノーマル： 普通の再生に戻ります。
↓
ランダム： 順不同に再生します。
↓
イントロ*： 前奏（最初の数秒間）のみを順に再生します。

* 音楽用 CD および MP3/WMAファイル再生時のみ

お知らせ

- メディアによっては再生できないものがあります。
- リピート、ランダム、スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ

- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。

■ 画像を回転させる（JPEG ファイル）

再生中に**方向ボタン**（▲／▼／◀／▶）を押す

押したボタンの方向に画像が回転します。

お知らせ

- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 好きな順番で再生する(プログラム再生)

再生したいトラック／ファイルを選んで、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で、機能の一覧から[編集モード]を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**(◀)で、トラック／ファイル一覧へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**(▲/▼)で、プログラム再生したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク[✓]がつきます。
再生したい順に、チェックマークをつけていきます。

4 **方向ボタン**で、機能の一覧から[プログラム入力]を選び、「**決定**」を押す

チェックマークが消え、選んだトラック／ファイルが本体に記憶されます。

5 **方向ボタン**で[プログラム表示]を選び、「**決定**」を押す

プログラムの一覧が表示されます。

6 「**再生**」を押す

一覧の順に再生が始まります。

- **トラック／ファイル一覧の表示に戻るには**

機能の一覧から[ファイル表示]を選び、「**決定**」を押す

- **プログラムしたトラック／ファイルを取り消すには**

1) [編集モード]を選んだ状態で、「**停止**」を2回押して、再生を停止させる

2) **方向ボタン**(◀)で、プログラムの一覧へカーソルを移動させる

3) 取り消したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク[✓]がつきます。

4) **方向ボタン**で、機能の一覧から[クリア]を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが、プログラムの一覧から消えます。

お知らせ

- メディアによっては機能しないものがあります。
- 本機の電源を切ると、プログラム再生は解除されます。

広がりのある音にする

DVD-V　VCD　CD

1 「シフト」を押しながら「**音場効果**」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「シフト」を押しながら「**音場効果**」をくり返し押す

- [3D オフ]
  通常の音声です。

- [3D オン]
  本機のスピーカー、ヘッドホーンや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備やディスクによって異なります。

操作状況や情報を表示させる

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「シフト」を押しながら「**表示**」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

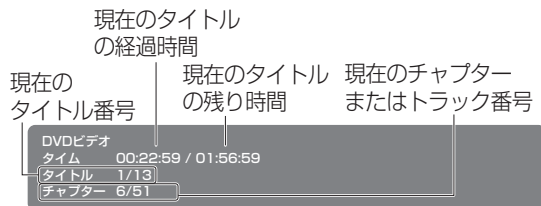
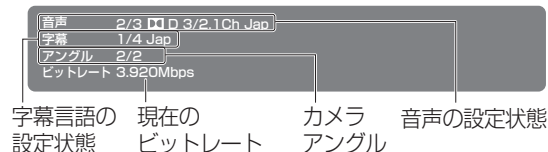
例：DVDビデオディスク

現在のタイトルの経過時間

現在のタイトル番号

現在のタイトルの残り時間

現在のチャプターまたはトラック番号

DVDビデオ
タイム　00:22:59 / 01:56:59
タイトル　1/13
チャプター　6/51

もう一度「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押すと表示内容が変わります。

更にもう一度「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押すと、画面表示が消えます。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

- 初期設定の変更と機能の設定
- 液晶画面の映像を調整する

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

［**TV/SD-V**］モードの機能の設定については、「テレビの録画・再生」章をご覧ください。

1 39 **ページの手順で［DVD/CD］モードに切り換える**

2 **停止中に、クイックメニュー（**40**ページ）から［セットアップ］を選び、「決定」を押す**

機能設定画面が表示されます。

3 **設定項目（下表）のアイコンを、方向ボタン（▲/▼）で選び、方向ボタン（▶）を押す**

4 **設定項目を、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す**

5 100 **ページ以降の説明を参照して、項目の内容を、方向ボタン（▲/▼）などで設定し、「決定」を押す**

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順２～４をくり返します。

6 **クイックメニューから［セットアップ］を選び、「決定」を押す**

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	ディスクメニュー言語	DVD-V VCD CD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像	TV画面形状	**DVD-V** **VCD** CD	本機の映像をテレビに接続してご覧になるとき、出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	**DVD-V** **VCD** CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
音声	E.A.M.	**DVD-V** **VCD** **CD**	音場効果を選びます。（E.A.M. = Enhanced Audio Mode）
	D.R.C.	**DVD-V** VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。（D.R.C. = Dynamic Range Control）
レベル設定	パレンタルロック	**DVD-V** VCD CD	パレンタルロック機能の内容を設定します。
	PBC	DVD-V **VCD** CD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。
	スクリーン・セーバー	**DVD-V** VCD CD	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。
出荷時設定	出荷時設定	—	これらの設定を工場出荷時の状態に戻します。
	DivXレジストレーション	—	DivXに関するお知らせが表示されます。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で画面表示します。
English：
英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で字幕を表示します。
英語：
英語で字幕を表示します。
オフ：
字幕を表示しません。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で音声を再生します。
英語：
英語で音声を再生します。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。
英語：
英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ
- ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

TV画面形状 DVD-V VCD CD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード DVD-V VCD CD

フルサイズ：

画像はカットされず、上下左右を伸ばしてフル画面で表示します。

オリジナル：

ディスクに記録されているもとの画像サイズで表示します。

自動：

自動的に縦横比を合わせて表示します。上下左右に黒い帯がでます。

ワイド：

画像の上下または左右をカットして、フル画面で表示します。

お知らせ

- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

■ 音声

E.A.M. (Enhanced Audio Mode) DVD-V VCD CD

ノーマル：
普通の音声です。
3D：
本機のスピーカーや、２本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ
- リモコンの「音場効果」を押しても、同じ設定ができます。

D.R.C. (Dynamic Range Control) DVD-V VCD CD

オン：
ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：
ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

■ レベル設定

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パスワードを設定する

はじめに、パレンタルロックの設定に使用する暗証番号を設定します。また、以下の手順で暗証番号を変更できます。

1 **方向ボタン**で[パスワード]を選び、「**決定**」を押す

2 **番号ボタン**を押して５桁の暗証番号（はじめてお使いになるときは「99999」）を入力し、「**決定**」を押す

3 [パスワード]を選んだまま「**決定**」を押す

新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

4 **番号ボタン**で新しい5桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

5 もう一度手順4で入力した暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

新しい暗証番号が設定されます。

お知らせ

- 設定した暗証番号を忘れてしまった場合、手順2で「99999」を入力すると、暗証番号を解除することができます。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**を押して、設定した5桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

レベルを設定できる状態になります。

3 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更しないと再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。

アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル	規制
8：Adult	成人向け。(すべてのソフトが再生できます。)
7：NC-17	17歳以下の視聴は禁止。
6：R	17歳未満の視聴は保護者の同伴が必要。
5：PG-R	17歳未満の視聴は保護者の同意が必要。
4：PG-13	13歳未満の視聴は保護者の同意が必要。
3：PG	児童の視聴は保護者の同意が必要。
2：G	一般向け。視聴に制限なし。
1：Kid Safe	子供向けソフトのみ再生可能。

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

PBC　DVD-V　VCD　CD

オン：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー　DVD-V　VCD　CD

オン：
スクリーン・セーバーが働きます。

オフ：
スクリーン・セーバーは働きません。

■ 出荷時設定

出荷時設定

いいえ：
現在の設定のままで選択を終了します。

はい：
設定を出荷時の状態に戻します。

お知らせ
- [**TV/SD-V**]モードの設定には影響しません。[**TV/SD-V**]モードの設定を出荷時の状態に戻すには、76 ページの手順を行なってください。

DivX レジストレーション

DivXに関するお知らせが表示されます。
表示中に「**決定**」を押すと、「出荷時設定」の画面に戻ります。

液晶画面の映像を調整する

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る場合には、外部機器で調整してください。

1 「映像調整」を押す

設定画面が表示されます。

2 方向ボタン（◀ / ▶）で［標準］または［メモリー］を選び、「決定」を押す

標準： お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するとき）の推奨値です。

メモリー：お好みで調整した設定値で見られます。（調整のしかたは右表をご覧ください。）

操作しないと、設定画面の表示は数秒で消えます。

お知らせ

- クイックメニューからも設定できます。

▲ / ▼で選択	設定	◀ / ▶で調整
明るさ	0～100	暗くなる ⇔ 明るくなる
コントラスト	0～100	低くなる ⇔ 高くなる
バックライト	暗・中・明	暗くなる ⇔ 明るくなる
色の濃さ	-50～+50	淡くなる ⇔ 濃くなる
色あい	-50～+50	緑っぽくなる ⇔ 紫っぽくなる
シャープネス	-7～+7	やわらかい映像になる ⇔ くっきりした映像になる
画面サイズ切換	自動	映像にあわせて、16:9または4:3の画面サイズで表示します。
	16:9	画面いっぱいに映像を表示します。 ・ 16:9の映像はそのままの縦横比で表示します。 ・ 4:3の映像は横伸びします。
	4:3	4:3の画面サイズでを表示します。 ・ 4:3の映像は、左右に黒い帯がつきますが、そのままの縦横比で表示されます。 ・ 16:9の映像は左右に黒い帯がつき、縦伸びします。
初期設定に戻す	「決定」を押すと、調整した項目を、お買い上げ時の状態にもどします。	

接続

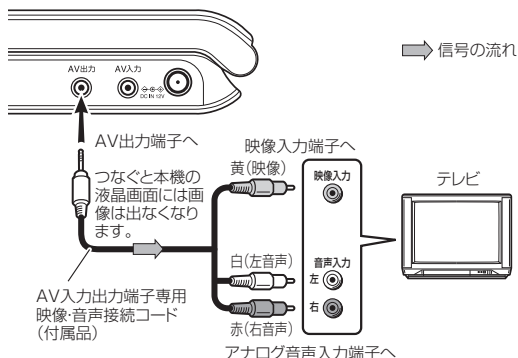
他の機器をつなぐことで、映像や音声がさらに楽しめます。

- **テレビの画面で見る**
- **他の機器の映像を本機の液晶画面で見る**
- **アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ**
- **カーアダプターを使う**
- **キャリングバッグを使う**

テレビの画面で見る

本機をテレビにつないで、本機の再生画像をテレビの画面で見られます。（[**TV/SD-V**] モード時の映像は出力されません。）

1 39 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 テレビを本機のAV出力端子につなぐ

お知らせ

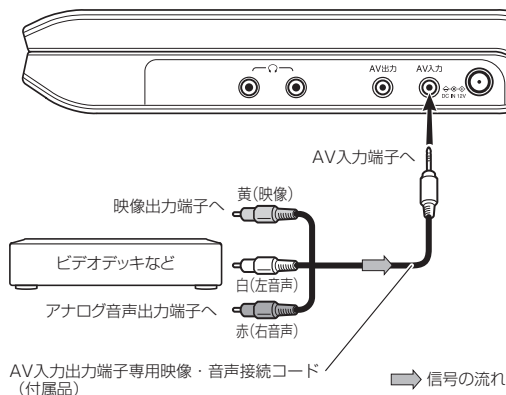
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。
- つないだテレビで本機の再生画像を見ているときに機能設定画面（98 ページ）を表示させるには、「クイック」を押してください。
- AV出力端子につないでいる間は、モードの切り換えができません。
- アナログの入力端子がないテレビには接続できません。

他の機器の映像を本機の液晶画面で見る

ビデオデッキ、ビデオレコーダーなどの映像を、本機の液晶画面で見ることができます。

1 映像機器を、本機のAV入力端子につなぐ

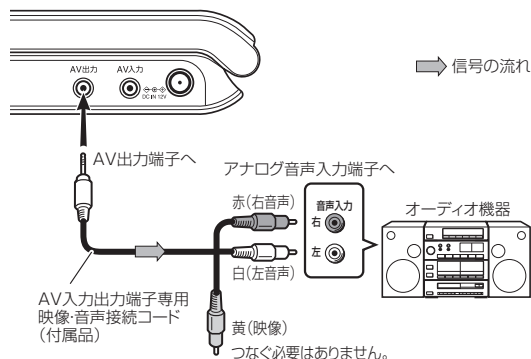
2 39 ページの手順で［**AV入力**］モードに切り換える

つないだ機器の映像を液晶画面で表示する状態（［**AV入力**］モード）になります。

お知らせ

- ［**AV入力**］モードでは、映像の画面形状が変わることがあります。
- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。
- ［**AV入力**］モードでは、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ

1 39 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 オーディオ機器を、本機のAV出力端子につなぐ

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機のACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- AV出力端子につないでいる間は、モードの切り換えができません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

カーアダプターを使う

付属品のカーアダプターを使えば、自動車のシガーライターソケットから電源を供給できるので、車内での使用時に便利です。

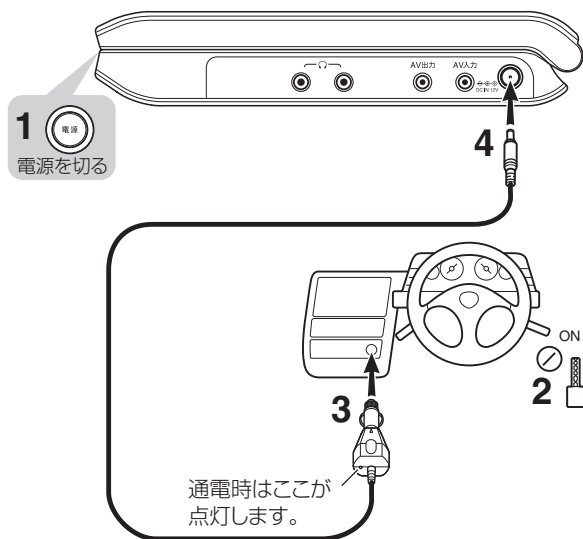
⚠注意

- **24V車や12Vプラスアース車では絶対使用しないこと**
  カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。
- **カーアダプターを使用するときは、必ず専用のバッテリーパックをDVDプレーヤー本体から取りはずすこと**
  発煙、火災、感電の原因となります。
  また、車のバッテリー等への影響が発生します。

1 本機の電源が切れていることを確認し、専用バッテリーパックをはずす

バッテリーパックをはずさないと極めて危険です。

2 車のエンジンをかけて、シガーライターソケットに通電させる

車種によってはエンジンをかけなくても通電する場合があります。車の取扱説明書をご覧ください。

3 シガーライターソケットに、カーアダプターのプラグを差し込む

4 本機の電源入力端子に、カーアダプターのプラグを差し込む

5 本機の電源を入れる

（次ページへつづく）

6 はずすときはまず本機の電源を切ってから、次にカーアダプターのプラグを本機の電源入力端子から抜き、最後にシガーライターソケットからカーアダプターのプラグを抜く

7 エンジンを止めたり、車を離れたりするときは、必ず本機の電源を切ってから、カーアダプターのプラグを電源入力端子から抜く

お知らせ

- 車のエンジンをかけるときは、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。誤動作の原因になります。
- 車のシガーライターソケットが灰などで汚れているときは、必ず清掃してから使用してください。汚れたままで使用していると、プラグ部分に熱を持ち発熱や故障の原因になります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にカーアダプターを放置しないでください。
- 車のエンジンを切るときは、まず本機の電源を切ってから、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。電源が入ったままエンジンを切ると故障の原因になります。
- 使用したあとは、シガーライターソケットとプレーヤー本体からカーアダプターを抜いてください。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグがシガーライターソケットに合わない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- カーアダプターに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。損傷した場合は、使用しないでください。
- シガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、必ずカーアダプター本体を持って抜いてください。
- 車のエンジンを切ったまま、カーアダプターを使って本機を使用しないでください。車のバッテリーの消耗の原因となります。
- 車種やシガーライターの位置によっては、カーアダプターが取り付けられない場合があります。
- シガーライターソケットや分配器をご自分で増設して使用しないでください。
  本機および周辺機器の故障・発火の原因になります。
- カーラジオなどに雑音が発生する場合には、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてみてください。
- 再生画像が乱れる場合には、本機をカーアダプターから離してみてください。

■仕様

動作温度：5～35℃

動作湿度：30～80%

保管温度：-10～50℃

保管湿度：20～80%

キャリングバッグを使う

ポータブルDVDプレーヤーの持ち運びなどのために、専用のバッグが付属されています。

■ 持ち運びに使う

プレーヤー本体や必要な付属品を中に入れ、ファスナーをしっかり閉めて、取っ手をにぎって持ち運びます。

■ 乗用車の座席に取り付ける

後部座席で本機を使いたいときに、前の座席の背面に固定できて便利です。

1 付属のベルトA、Bをキャリングバッグに取り付ける

ベルトA（細）

①バッグをあけ、ふたの裏側に矢印のようにひと回りさせて通す

②ベルトの端をバッグのフックに通して留める
反対側も同様に。

ベルトB（太）

キャリングバッグ底面に通す

2 ベルトA、Bを座席に取り付ける

ベルトの長さは、座席に合わせて調節してください。

座席背面

A ヘッドレストへ

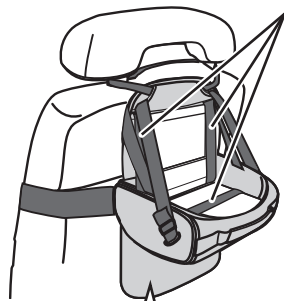
底部のファスナーをあける

B 背もたれへ

座席側面

ベルトBのバックルを体の触れない位置にずらし、座席に取り付ける

（次ページへつづく）

3 座席に取り付けたキャリングバッグに、本体を入れて固定する

お知らせ

- キャリングバッグには、プレーヤー本体と付属品以外のものは入れないでください。
- キャリングバッグの座席への取り付け・取りはずしのときは、中身はバッグから出してください。
- 走行中は車のシートから取りはずしてください。急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。
- 人のいない車内など、高温になる場所に、本機を入れたキャリングバッグを放置しないでください。
- 車種によっては、キャリングバッグが座席に取り付けられない場合があります。無理な取り付けはしないでください。
- キャリングバッグのベルトやファスナーなどを強く引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

メッセージが表示されたら（TV/SD-V モード）

[**TV/SD-V**] モードでご使用のとき、画面に以下のようなメッセージが表示されることがあります。
下の表を参考に対処してください。
（メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。）

メッセージ	処置
現在、受信できません 電波環境のよい場所で受信を行ってください	• アンテナを調節する、または電波状態のよい場所へ移動してください。内蔵アンテナをお使いのときは、外部アンテナ端子へ接続してみてください。 • 現在の地域に合うようにチャンネル設定をしなおしてください。
チャンネルが見つかりません	• アンテナを調節し、電波状態のよい場所でチャンネル設定してみてください。
番組情報を取得できません	• 番組表データが受信できません。アンテナを調節する、または電波状態のよい場所へ移動してください。
予約登録件数が一杯なため 録画予約できません	• 録画予約の登録は最大 16 件までです。登録済みの予約をキャンセルしてください。
他の録画予約と重複しているため 録画予約できません	• 他の録画予約と時間帯が重ならないように予約を変更してください。
録画タイトルが 99 タイトル以上です	• SD カードに記録できる番組数は最大 99 件です。録画番組を削除して、録画可能な状態にしてください。 または、空き容量のある SD カードを挿入してください。
SD カードを確認してください	• SD カードを本機に挿入してください。 • SD カードアダプターを使用するときは、アダプターを正しく装着してください。
SD カードの空き容量がありません	• 録画番組を削除して SD カードの空き容量を増やしてください。 または、空き容量のある SD カードを挿入してください。
この SD カードはライトプロテクト状態です SD カードのライトプロテクトを解除してください	• SD カードのライトプロテクトタブが「LOCK」側になっていませんか。SD カードに録画するには、カードのロック状態を解除してから本機に挿入してください。
録画予約待機中のため操作できません	• 予約録画開始前は、チャンネルの選局や設定はできません。
再生するファイルがありません	• SD カードに録画番組が記録されていません。
SD カードが書き込み禁止になっているため レジュームできません	• SD カードのライトプロテクトタブが「LOCK」側になっているときは、続き再生（レジューム再生）できません。

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源がはいらない。	• ACアダプターが抜けている。	• ACアダプターをしっかりと差し込む。
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
バッテリーパックが充電できない。	• バッテリーパックの状態が満充電に近い。	• バッテリーパックの残量を減らしてから充電する。
液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
画像が出ない。	• AV出力端子にコードがつながっている。	• 本機の液晶画面で見るときは、AV出力端子からコードを抜く。
	• モードが合っていない。	• 39 ページの手順で目的のモードに切り換える。
画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ボタンで調節する。
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
雑音が多く、音が悪い。	• 近くでパソコンや携帯電話などの電気製品を使用している。	• 電気製品を本機から離す。
モードの切り換えができない。	• 録画をしている。	• 録画中は[**SDカード**] モードへの切り換えができません。
テレビの映像が映らない。	• 操作している場所、地域で放送サービスが行なわれていない。	• 放送エリア内で操作する。
	• 電波の受信状態が悪い。	• アンテナを調節し、電波の受信が良好な状態で操作する。
	• 地域に合ったチャンネルが設定されていない。	• チャンネル設定を行なう。
	• 本機のモードを [**TV/SD-V**] 以外に設定している。	• 39 ページの手順で[**TV/SD-V**] モードにする。

症状	原因	処置
字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない。	• 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していない。	• 対応していない番組の場合は、字幕設定、音声設定は機能しません。
録画ができない。 （116 ページもあわせてご覧ください。）	• SDカードが入っていない。	• SDカードを入れる。
	• SDカードが録画可能な状態でない。書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている/録画に十分な録画可能時間が残っていない/録画可能番組数（最大99件）が記録されている　など。	• 録画可能なSDカードを使用する。
録画の画像が乱れている。または途中で止まって動かない。	• 電波の受信状態が悪くなった。	• 電波の受信が良好な状態で録画する。
録画が途中で切れている。	• バッテリー残量がなくなった。	• 大切な録画にはACアダプターを使用する。
	• 番組の途中で緊急放送などがはいった。	• [録画自動延長]（69 ページ）の設定を[オン]にしていても、番組によっては対応できない場合があります。
録画予約ができない。 （116 ページもあわせてご覧ください。）	• 録画予約がすでに16件登録されている。	• 新たに録画予約する場合は、登録済みの予約を削除する。
設定した終了時刻を過ぎても、予約録画が終了しない。	• [録画自動延長] が[オン] になっている。	• [録画自動延長] を[オフ] にする。
予約一覧に、過去の番組の予約が残っている。	• 予約録画が実行されなかった。	• 未実行の予約を削除して録画可能件数を戻す。（65 ページ）
予約録画した番組の最初の部分が録画されていない。	• 直前に、別の予約録画があった。（予約録画の終了時刻と別の予約録画の開始時刻が同じときは、後の予約録画の最初約1分間が録画されません。）	• 時間帯の連続する録画を2件予約するときは、1分以上の間隔をあける。

症状	原因	処置
ディスクの再生が始まらない。	• 本機のモードを[**DVD/CD**]以外に設定している。	• **39**ページの手順で[**DVD/CD**]モードにする。
	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックの規制レベルを変更する。
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。
接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。(本機の液晶画面以外で)	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。

故障かな…？と思ったときは（つづき）

症状	原因	処置
リモコンがきかない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本体の受光部に向けて操作する。
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。
本機が操作中に止まってしまい、15分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなる場合があります。	• 本体の「電源」を約10秒間押したままにすると、強制的に電源を切ることができます。ただし、この機能は操作不能時に電源を切るための緊急手段ですので、頻繁には行わないでください。データやカード自体に障害が出る可能性があります。 上記の操作を行なっても電源が切れない場合は、ACアダプターやバッテリーパックをはずし、修理をご依頼ください。

仕様

■ 本体部

電源
入力端子DC12V（定格電流：1.5A（最大：バッテリーパック充電時））
AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）

質量
820g（バッテリーを含まず）

外形寸法
幅190×高さ32×奥行161mm

信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/795nm

使用条件
温度：5℃～35℃
動作姿勢：水平

受信チャンネル（ワンセグ放送）
UHF 13～62ch

■ 本体端子部

映像・音声出力（AV出力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
AV出力小型端子（∅3.5mm）×1

映像・音声入力（AV入力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
AV入力小型端子（∅3.5mm）×1

ヘッドホーン端子
ステレオミニジャック（∅3.5mm）×2

アンテナ入力
F型コネクタ、75Ω（変換コネクタを含む）

■ 液晶画面部

画面サイズ
7V型ワイド

表示方式
透過型TN形カラー

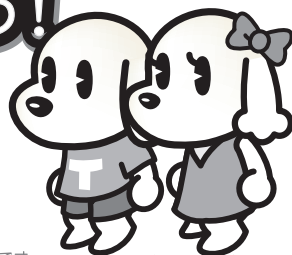
駆動方式
アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式

画素数
横800×縦480ピクセル（有効画素率99.99%以上）

■付属品

AV入力出力端子専用映像・音声接続コード …1本
ワイヤレスリモコン(MEDR73DTJX) …1個
コイン型電池（CR2025）…1個
ACアダプター（EADP-18SB F) …1個
バッテリーパック(SD-PBP75J) …1個
ヘッドホーン…1個
アンテナ…1本
アンテナ変換プラグ…1個
カーアダプター（MEDC01AX）…1個
キャリングバッグ…1個
取扱説明書…1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

Room1048（ルームトウシバ）は、東芝デジタル商品をご購入された方を対象としたWebによるお客様登録サービスです。

トビット　ジェリエット

ポイント 1　ポイントを貯めてプレゼントを当てよう!

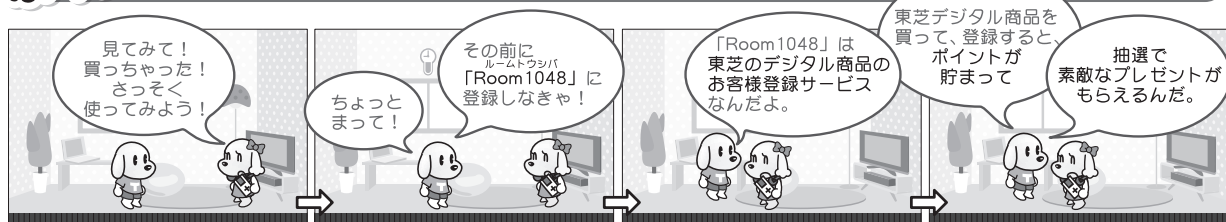
見てみて！
買っちゃった！
さっそく
使ってみよう！

ちょっと
まって！

その前に
「Room1048（ルームトウシバ）」に
登録しなきゃ！

「Room1048」は
東芝のデジタル商品の
お客様登録サービス
なんだよ。

東芝デジタル商品を
買って、登録すると、
ポイントが
貯まって

抽選で
素敵なプレゼントが
もらえるんだ。

ポイント2 あれ？これどうするの？困ったときも登録しておけば便利！

ポイント3
会員限定のメルマガには
新商品情報がいっぱい！
キャンペーン情報も
いち早くGET！

ポイント4
ゲームや、壁紙、
スクリーンセーバーなど
楽しいコンテンツがいっぱい！
「Room1048」で遊ぼう！

ポイント5
1つの商品で
家族みんなが、
それぞれ登録できるよ！

[注意事項]

※お客様の個人情報の取扱全般に関する当社の考え方をご覧になりたい方は、(株)東芝の「個人情報保護方針」のページ<http://www.toshiba.co.jp/privacy/>をご覧ください。

※Room1048のご登録はWebの専用ページからのみの受付となります。また、Room1048をご登録された場合は、商品同梱の登録はがきのご投函は不要です。

株式会社 **東芝**

ビジュアルプロダクツ社
デジタルプロダクツ&ネットワーク社

東芝ID事務局
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

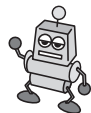
Room1048 Toshiba **http://room1048.jp/**

詳しくはホームページへ

●Room1048 TIDサービスに関するお問い合わせ

TEL：043-279-2111　FAX：043-279-2112

受付時間：9:00～17:00　毎週土曜日・日曜日・祝日・当社休業日を除く

FAQ：https://digitaldoors.jp/tid/

Room1048登録対象の東芝デジタル商品

● ノートパソコン「dynabook」「Qosmio」(2000年以降発売モデル) ● ポケットPC(PDA)「GENIOe」 ● ハイビジョン液晶テレビ「REGZA」＜レグザ＞ ● 液晶テレビ/プラズマテレビ「face」● HDD&DVDレコーダー「VARDIA」＜ヴァルディア＞「RDシリーズ」「カンタロウ」 ● ポータブルDVDプレーヤー「ポータロウ」(2008年11月以降発売機種) ● HDDレコーダー「RD-H1」「RD-H2」● HD DVDプレーヤー ● HD DVD搭載ハードディスクレコーダー ● VHS&DVDビデオレコーダー ● HDD&DVDビデオレコーダー内蔵液晶テレビ ● DVDレコーダー ● デジタルオーディオプレーヤー「gigabeat」● HDDムービーカメラ「gigashot」● デジタルスチルカメラ「Allegretto」(1999年11月以降発売機種)「sora」 ● BS/CSチューナー ● ワイヤレスメディアステーション「Trans Cube」 ● プロジェクター(2003年9月以降発売機種) ※2008年11月1日現在の情報です。